

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

- 1.1 工事名 建築工事特記仕様書による
- 1.2 工事場所 //
- 1.3 工期 //
- 現場施工期間 //

1.4 工事科目 (○印の付いたものを適用する)

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 電灯設備 ○ 動力設備 ・ 電熱設備 ・ 雷保護設備 ・ 受変電設備 ・ 電力貯蔵設備 ・ 発電設備 ・ 構内情報通信網設備 ・ 構内交換設備 ・ 情報表示設備 ・ 映像、音響設備 ・ 拡声設備 (非常放送設備) ○ 誘導支援、呼出し設備 | <ul style="list-style-type: none"> ○ テレビ共同受信設備 ・ テレビ電波障害防除設備 ・ 監視カメラ設備 ・ 駐車場管制設備 ・ 防犯、入退室管理設備 ・ 自動火災報知設備 ・ 自動閉鎖設備 ○ 非常警報設備 ・ ガス漏れ火災警報設備 ・ 電話配管設備 ・ 中央監視制御設備 ・ 医療関係設備 ・ 昇降機設備 |
|---|---|

- 1.5 指定部分 建築工事特記仕様書による
- 1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合) 建築工事特記仕様書による

- 1.7 建物概要 //
- 1.8 工事概要 //
- 1.9 同時期発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

- (1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市電気設備工事特別共通仕様書 (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (電気設備工編)、公共建築改修工事標準仕様書 (電気設備工編)、公共建築設備工事標準図 (電気設備工編) (以下「標準仕様書等」という。)及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
- (3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様 (特記事項の選択項目は、○印の付いたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。)

| 項目 | 特記事項 |
|-------------|--|
| ① 機材等 | 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとす。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。 |
| ② 施工条件 | 建築工事特記仕様書による |
| ③ 工用電力・水 | // |
| ④ 工用仮設物 | // |
| ⑤ 足場・さんばし類 | // |
| ⑥ 監督員事務所 | // |
| ⑦ 保 険 | // |
| ⑧ 再使用機材 | // |
| ⑨ 完成図書の電子納品 | // |
| ⑩ 発生材処理 | 引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 (構外搬出処理費は、※本工事・別途) (1) 引渡しを要するもの () (2) 買取処分をするもの (銅屑・鉄屑) (3) 再生資源化を図るもの (蛍光管) 蛍光管等は再生資源化施設等に搬出し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物 () ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。 |
| ⑪ 金属電線管の塗装 | 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。 また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。 |
| ⑫ 鍵 | 盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。 |

⑬ 地中電線路

- (1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

| 敷き均し土 | 管 種 別 |
|-------|---|
| 良質土 | 硬質ビニル電線管 (VE) 耐衝撃性塩化ビニル管 (HIVE) 波付硬質合成樹脂管 (FEP) ポリエチレン被覆鋼管 (PLP) |

- (2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。
- (3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

⑭ 回路の種別 行先の表示

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

⑮ 電線の接続

湿気が多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

⑯ 電線管の接続

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

⑰ 接地工事

漏電遮断機で保護されている電路と保護されていない電路のD種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑/黄又は緑/色帯で区別する。

⑱ 建設発生土の処理

埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・ 構外搬出適切処理する。

19 再生砂・再生砕石 再生アスコン使用

⑳ 耐震施工

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)による。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

- (1) 設計用水平地震力
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

| 設置場所 | 機器種別 | 特定の施設 | |
|---------------|-----------------------|-------|------|
| | | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階 屋上及び塔屋 | 機 器 | 2.0 | 1.5 |
| | 防振支持の機器 水 槽 類 (※1) | 2.0 | 2.0 |
| 中間階 | 機 器 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 水 槽 類 (※1) | 1.5 | 1.0 |
| 地下・1階 | 機 器 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 水 槽 類 (※1) | 1.0 | 1.0 |

【備 考】(※1) : 水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器

配電盤 発電装置 (防災用) 直流電源装置 交流無停電電源装置
交換機 火災報知器受信機 中央監視装置 太陽光発電装置

上層階の定義は次による。
2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

- (2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉑ あと施工アンカー

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、(一社)日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
(原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。)
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

㉒ はつり及びあと 施工アンカー打設

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

㉓ 改修部分の足場

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。
(1) 内部足場 ※ 脚立足場
(2) 外部足場 ※ A種 (枠組足場) ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種 ・ F種
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について (厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

㉔ 墜落制止用器具 (フルハーネス型)

※使用を要する 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドラインによる
・ 使用を要しない

㉕ アスベスト事前調査結果の報告

全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石棉障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

㉖ その他

- (1) 施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
- (2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
- (3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
- (4) 本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
- (5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
- (6) 改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
- (7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように締密に打合せを行うこと。
- (8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
- (9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
- (10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項 (特記事項選択項目は、○印の付いたものを適用する)

| 項目 | 特記事項 |
|-------------------------------------|--|
| ① 電灯設備 | (1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント (2P15A) は運用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、市営住宅における戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事に際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継棒 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしるカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継棒を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしるカバーの間が離れないように施工した場合は、継棒を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころしが配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。 |
| ② 動力設備 | (1) 動力制御盤及び閉閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。 |
| 3 雷保護設備 | 受雷部突針はLR1とする。 |
| ④ 受変電設備 | 高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。 (端末処理 ○耐塩用 ・ 一般用) 受 電 電 圧 柱上用高圧気中 負荷開閉器 (PAS) 主遮断装置 変圧器設備容量 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 300A 定格電圧 7.2kV 定格遮断電流 12.5kA 動力用 75kVA×1台 電灯用 50kVA×1台 スロット 20kVA×1台 高圧進相コンデンサ 21.3kVar×1台 直列リアクトル ○6% ・1.3% 1.28kVar×1台 |
| 5 構内情報通信網設備 | ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。 |
| 6 電力貯蔵設備 | ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要) |
| 7 発電設備 | ・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給 (コージェネレーション) 発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要) |
| ⑧ 構内交換設備 | 局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。 |
| ⑨ 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備 (非常放送設備) | (1) 所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 (2) 総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。 |
| 10 昇降機設備 | |

2.4 取付高さ

壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

| 名 称 | 測 点 | 取付高さ (mm) | |
|---------------------|-------|------------------|------------------|
| | | 一 般 | 市営住宅 |
| スイッチ (一般) | 床上~中心 | 1,300 | 1,200 |
| // (身体障害者用) | // | 1,100 | 1,000 |
| // (人感センサー切換用) | // | 2,000 | 2,000 |
| コンセント、電話用アダプタ、直列エント | (一般) | 300 | 400 |
| // (和室) | // | 150 | 200 |
| // (台上) | 台上~中心 | 150 | 500 |
| 防水型コンセント | 床上~中心 | 500 | 500 |
| 分電盤、制御盤、開閉器箱 | // | (上端1,900以下)1,500 | (上端1,900以下)1,500 |
| 呼出ボタン (身体障害者用) | // | 900 | 900 |
| 復帰ボタン (//) | // | 1,800 | 1,800 |
| 廊下表示灯 (//) | // | 2,000 | 2,000 |
| 端子盤 | // | (上端1,900以下)1,500 | 2,000 |

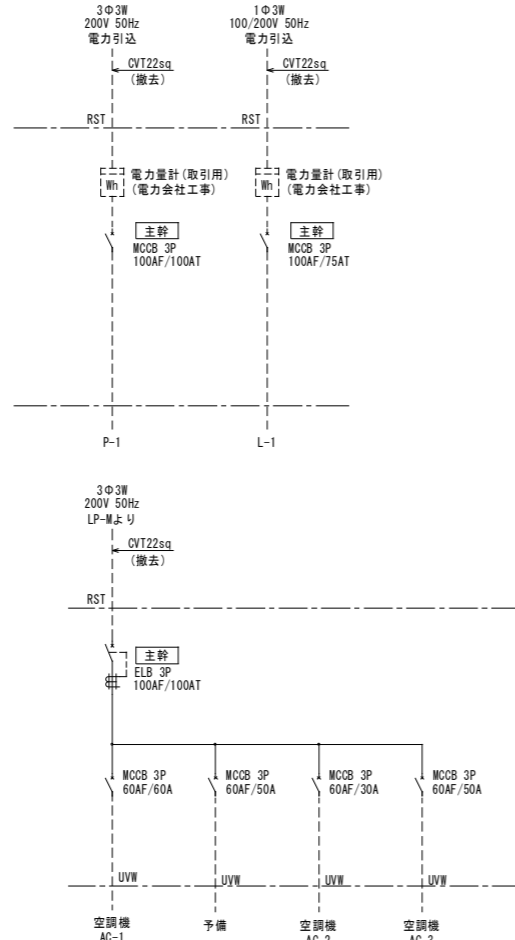
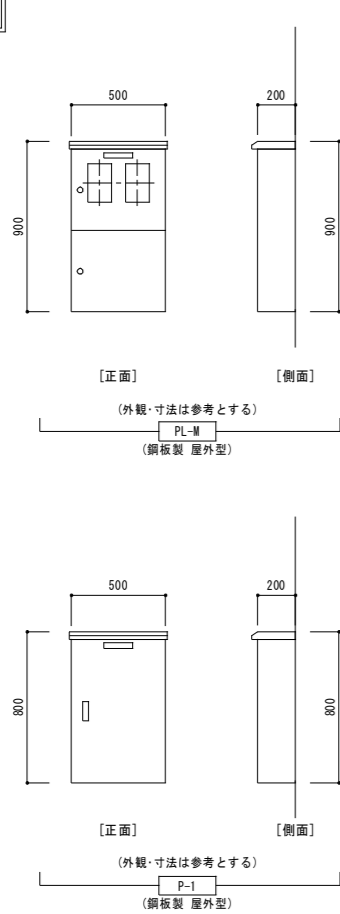
3 その他

- 3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
- 3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、JIS A1版、A3版とした縮尺とする。
- 3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。
- 3.4 工事用図面
建築工事特記仕様書による

| 設計年月日 | 縮 尺 | 工 事 名 称 | 図 面 名 称 | 図面番号 |
|---------|------------|-----------|-----------|------|
| 2026.03 | A1- A3- | ひまわり園改修工事 | 電気設備特記仕様書 | E-01 |

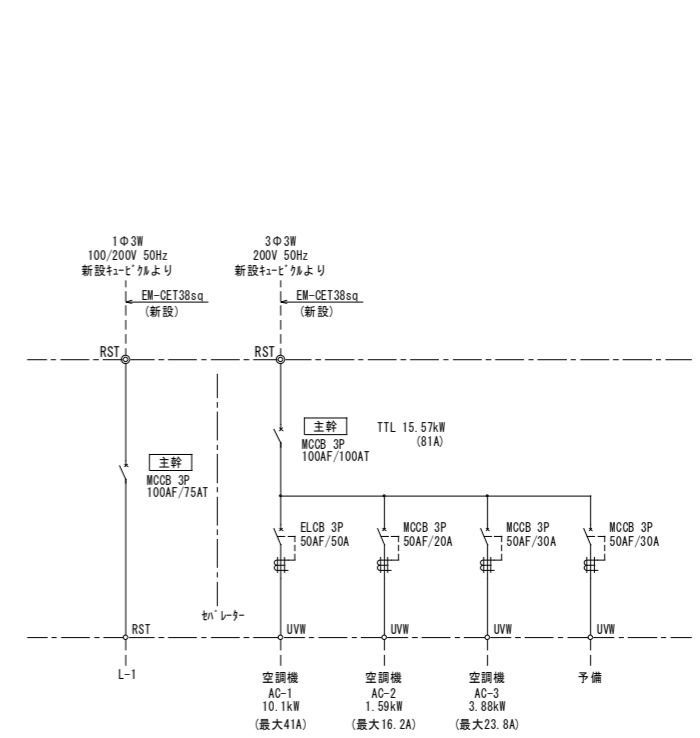
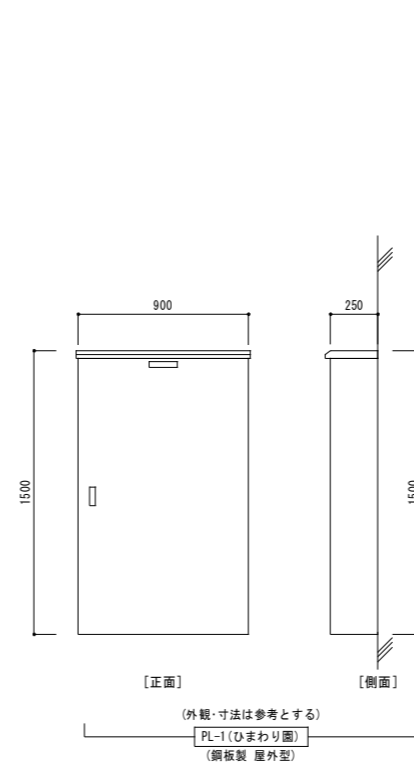
春日部市
福祉部 障がい者支援課

改修前



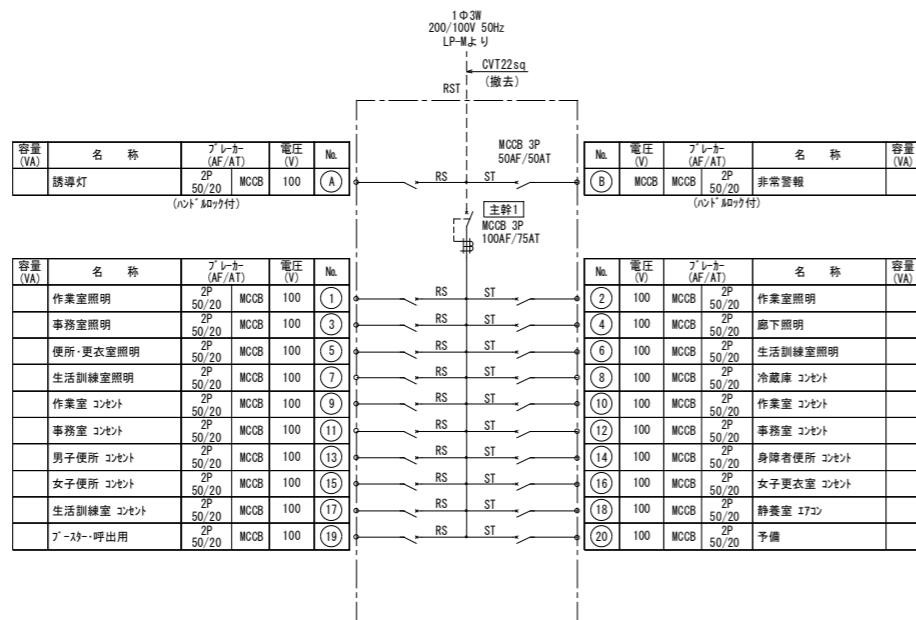
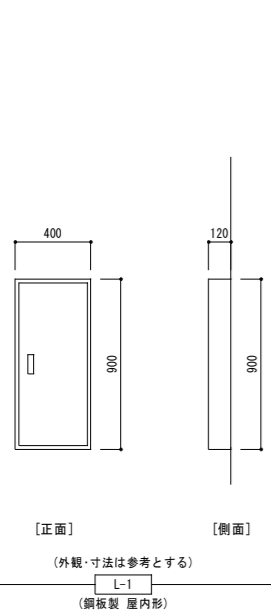
<改修概要>
1. 撤去。

改修後



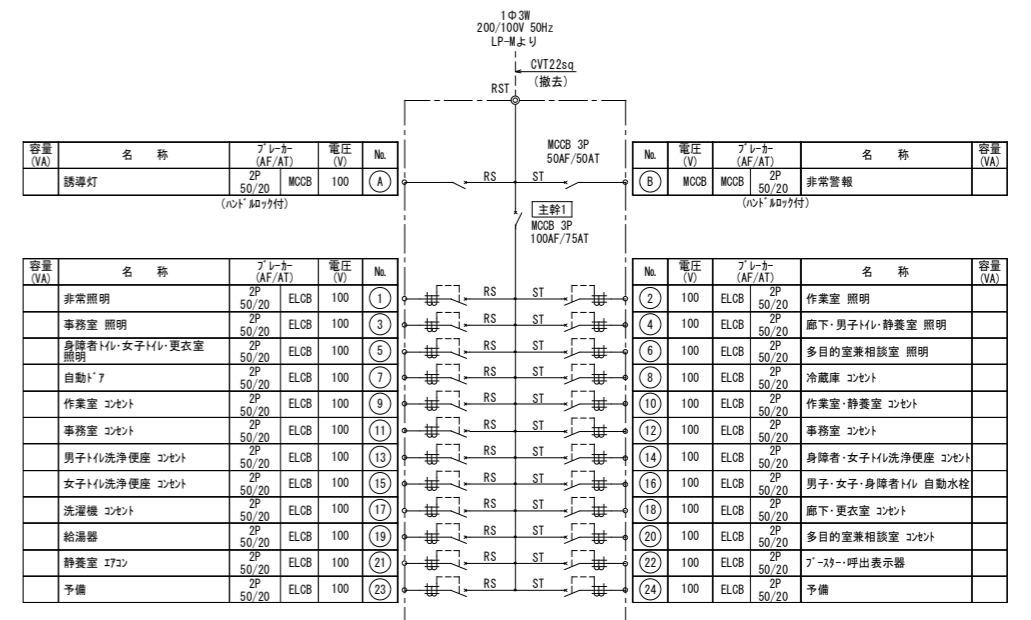
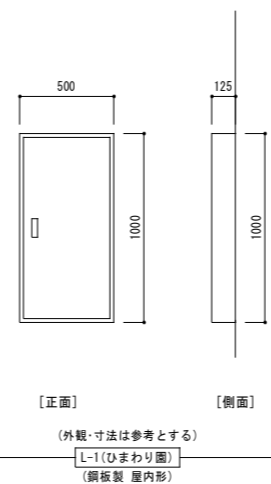
<改修概要>
1. 新設。

改修前



<改修概要>
1. 撤去。

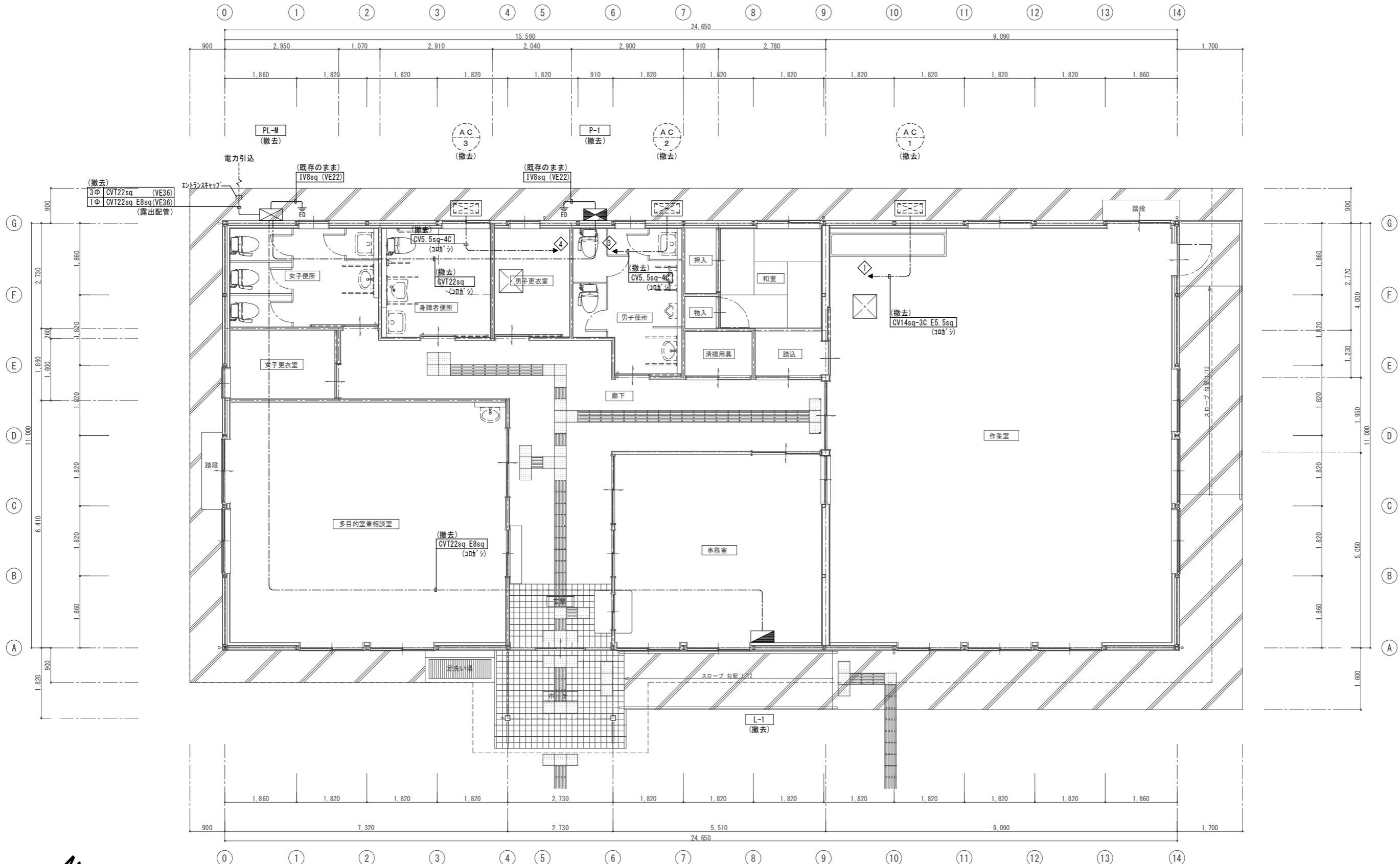
改修後



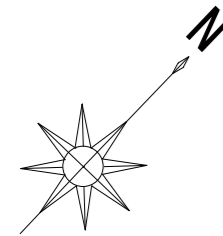
<改修概要>
1. 新設。

| | | | | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|----|------|-----------|------|-----------------|------|------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | 工事名称 | ひまわり園改修工事 | 図面名称 | 分電盤 結線図 (改修前・後) | 図面番号 | E-02 |
|-------|---------|---------------------|----|------|-----------|------|-----------------|------|------|

改修前



平面詳細図 (改修前) S=1/50

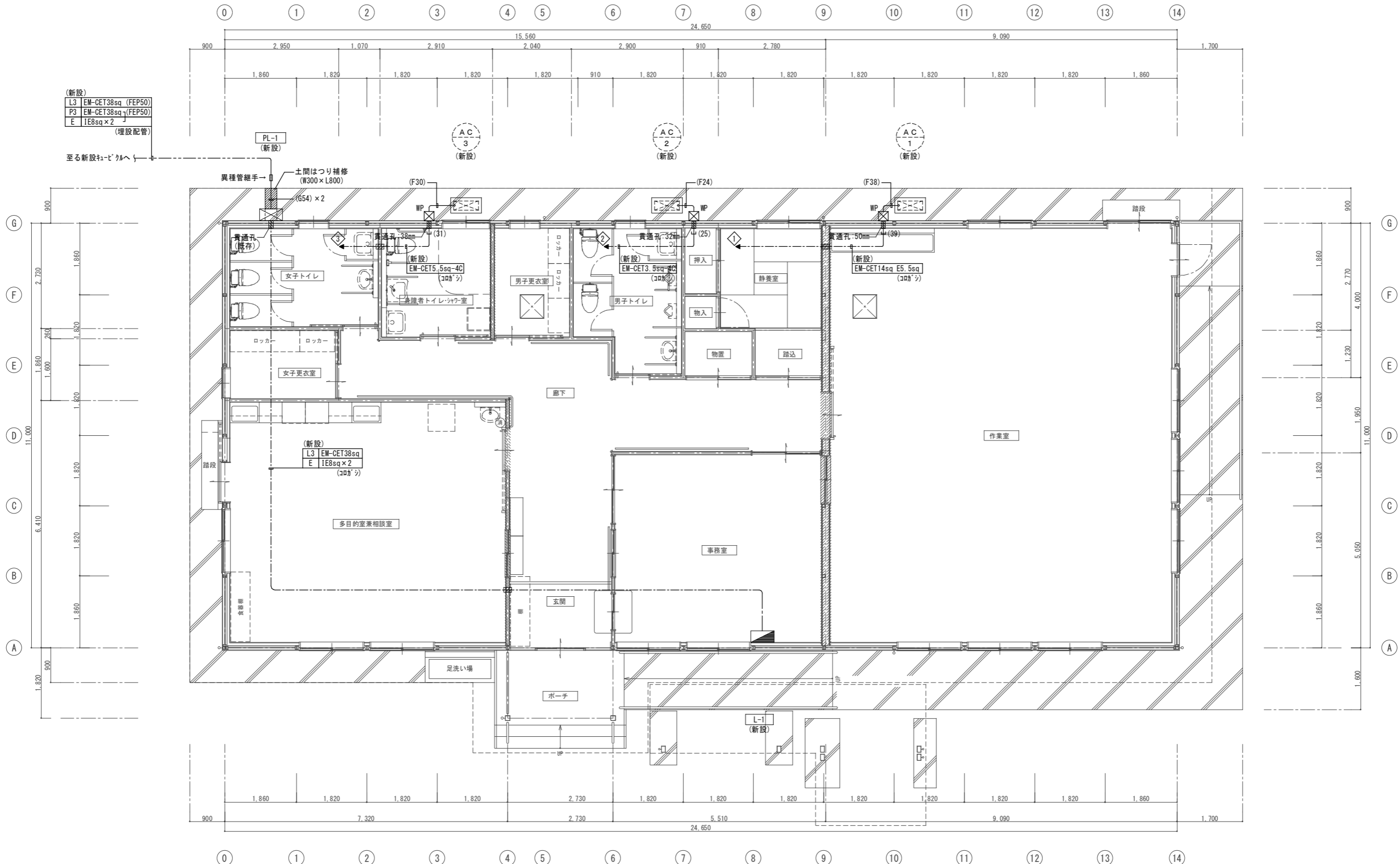


| 機器凡例 | | | |
|------|--------------|---------------------------------|-------|
| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
| PL-M | PL-M (引込開閉器) | 分電盤図参照 | 撤去 |
| L-1 | L-1 (電灯分電盤) | | 撤去 |
| P-1 | P-1 (動力分電盤) | | 撤去 |
| ⊕ | 接地極 | ED種 (7×3棒 (10Φ) × 1 (L=1000mm)) | 既存のまま |
| □ | 空調室外機 | 機械設備工事 | 撤去 |

<注記>
 1. 全て撤去とする。
 2. 空調機の撤去に伴い配線は本工事とする。

| | | | | | | | | | | |
|-------|----------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|--------------------|------|------|
| 設計年月日 | 2026. 03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | A1-1:50 A3-1:100 | 工事名称 | ひまわり園改修工事 | 図面名称 | 幹線動力設備 平面詳細図 (改修前) | 図面番号 | E-03 |
|-------|----------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|--------------------|------|------|

改修後



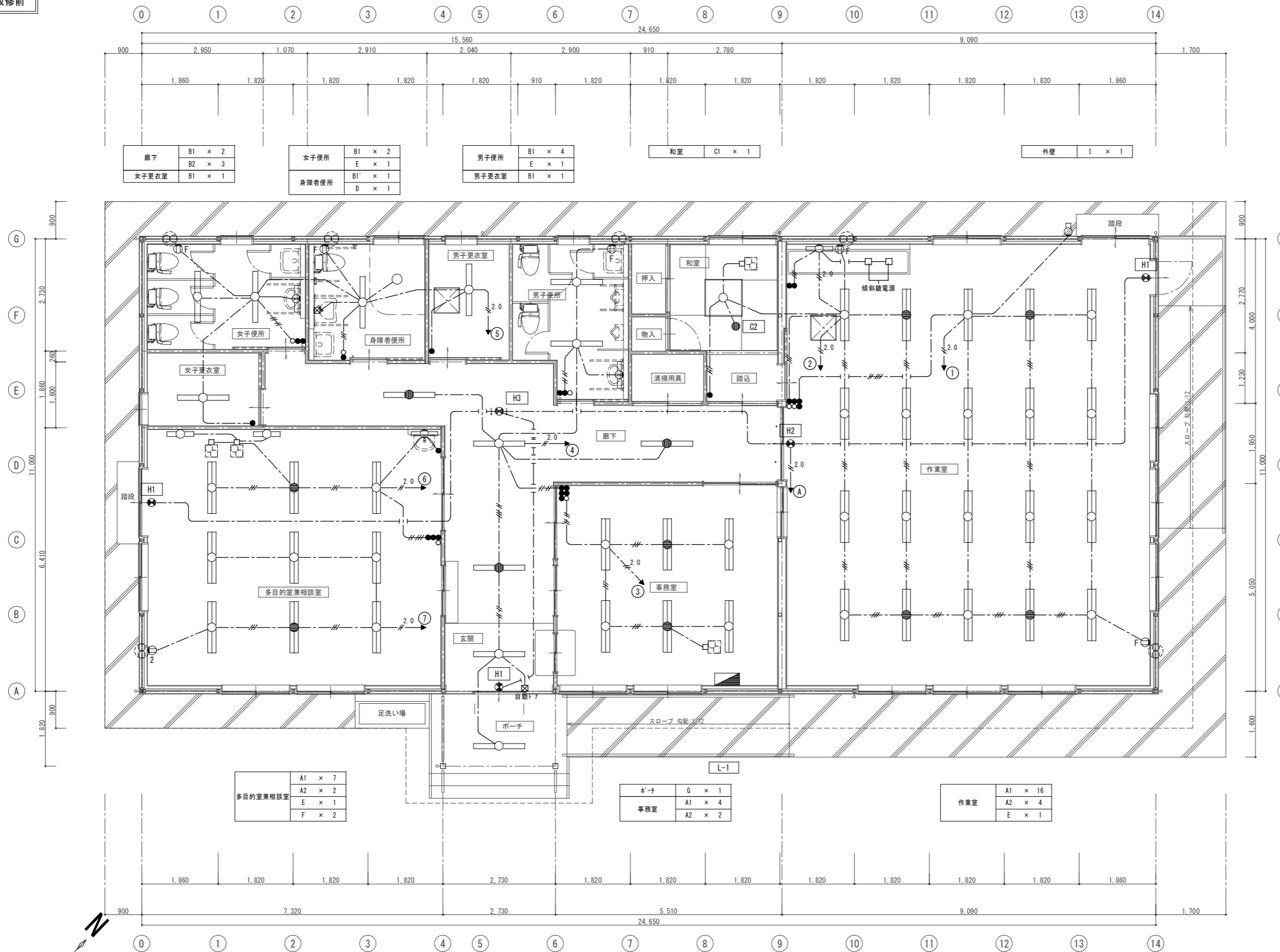
平面詳細図 (改修後) S=1/50

| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
|-------|----------------------|-------------|----|
| PL-1 | PL-1(ひまわり図) (電灯・動力盤) | 分電盤図参照 | 新設 |
| L-1 | L-1 (ひまわり図) (電灯分電盤) | ↓ | 新設 |
| WP | フタ付き(SUS)WP ET付 | 150×150×100 | 新設 |
| はつり補修 | はつり補修・金属短管処理 | | 新設 |
| 空調機 | 空調室外機 | 機械設備工事 | 新設 |

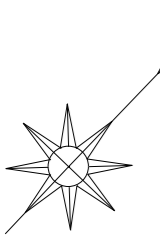
<注記>
 1. 空調機の新設に伴い結露は本工事とする。
 2. 空調機の接続は金属製可とう電線管(被覆付)とする。
 3. 図中の斜線は国土交通省大臣認定工法の防火区画貫通処理を施すこと。

| | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|---------------------------|-------------------|----------------------------|--------------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 A1-1:50 A3-1:100 | 工事名称 ひまわり園改修工事 | 図面名称 幹線動力設備 平面詳細図 (改修後) | 図面番号 E-04 |
|-------|---------|---------------------|---------------------------|-------------------|----------------------------|--------------|

改修前



平面詳細図 (改修前) S=1/50





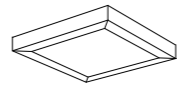
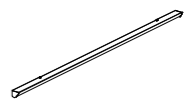

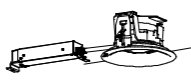
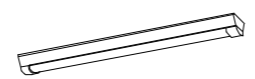
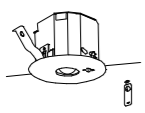
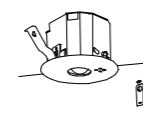


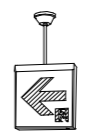


| 機器凡例 | | | |
|------|--------------|---------------------|---------|
| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
| L-1 | :参照 (電灯分電盤) | E-参照 (電灯分電盤) | 撤去 |
| A1 | :直付富士型 | FL40W×2 | 撤去 |
| A2 | :直付富士型 (非常灯) | FL40W×2 | 撤去 |
| B1 | :直付富士型 | FL40W×1 | 撤去 |
| B1' | :直付富士型 | FL40W×1 | 撤去 |
| B2 | :直付富士型 (非常灯) | FL40W×1 | 撤去 |
| C1 | :コードレスライト | FL30W×2 | 撤去 |
| D | :直付 防水フラット | 1L60W | 撤去 |
| E | :タネタネ付 | FL20W×1 | 撤去 |
| F | :タネタネ付 | FL20W×1 | 撤去 |
| G | :直付フラット | FL40W×1 | 撤去 |
| I | :タネタネ付 | FL20W×1 | 撤去 |
| C2 | :非常照明 (埋込型) | 1L10W | 撤去 |
| H1 | :誘導灯 (壁付型) | FL20W | 撤去 |
| H2 | :誘導灯 (壁付型) | FL10W | 撤去 |
| H3 | :誘導灯 (天井型) | FL10W | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×1 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×2 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×1+n' (0n157) × 1 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×2+n' (0n157) × 1 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×3+n' (0n157) × 1 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×5+n' (0n157) × 1 | 撤去 |
| ● | 埋込スイッチ | 1P×4+n' (0n157) × 2 | 撤去 |
| Ⓧ | 埋込コンセント | 2P15A×1 | 撤去 |
| Ⓧ | 埋込コンセント | 2P15A×2 | 撤去 |
| Ⓧ | 換気扇 | | ※機械設備工事 |
| Ⓧ | 有圧扇 | | ※機械設備工事 |

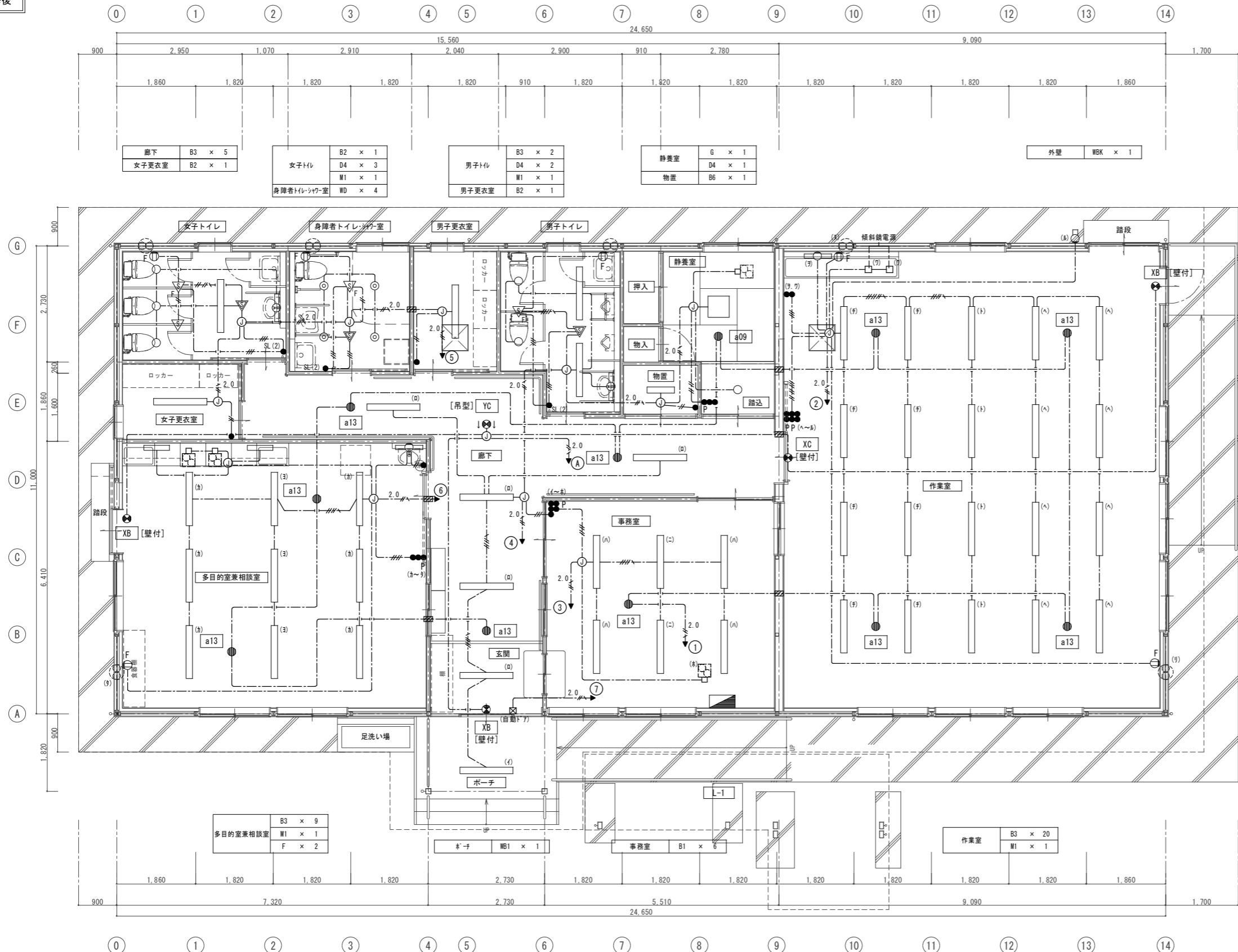
| 配線凡例 | | | |
|------|--------------|-------|----|
| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
| --- | VVF1.6-2C | (30φ) | 撤去 |
| --- | VVF1.6-3C | (30φ) | 撤去 |
| --- | VVF1.6-2C×2 | (30φ) | 撤去 |
| --- | VVF1.6-2C+3C | (30φ) | 撤去 |
| --- | VVF2.0-2C | (30φ) | 撤去 |

注記
1. 全て撤去とする。但し、タネタネ付配管は残置とし配線のみを撤去とする。

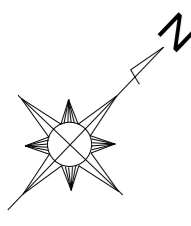
| | | | | | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|------------------|------|------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | A1-1:50 A3-1:100 | 工事名称 | ひまわり園改修工事 | 図面名称 | 電灯設備 平面詳細図 (改修前) | 図面番号 | E-05 |
|-------|---------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|------------------|------|------|

| <p>B LED^-スライト 逆富士型 W150 150×1250×50 省エネ特約</p> <p>B1 公共施設型番：LSS9H-4-65 6900lm 5000K 37.5 VA B2 公共施設型番：LSS9H-4-48 5100lm 5000K 27.6 VA B3 公共施設型番：LSS9H-4-48 4000lm 5000K 21.8 VA</p>  <p>B1:6台 B2:3台 B3:36台</p> <p>B1: XFX460AHN LE9 (参考) B2: XFX450AHN LE9 (参考) B3: XFX440AHN LE9 (参考)</p> | <p>B6 LED^-スライト 逆富士型 W150 150×632×50</p> <p>公共施設型番：LSS9-2-30 3200lm 5000K 21 VA</p>  <p>B6:1台</p> <p>XFX230AEN LE9 (参考)</p> | <p>D4 LED^+クランプ Φ100 埋込穴φ100×59</p> <p>公共施設型番：LRS1-05 610lm 5000K 4.4 VA</p>  <p>D4:6台</p> <p>XND0639WN LE9 (参考)</p> | <p>F LED^+クランプ 117×558×47</p> <p>980lm 5000K 20 VA</p>  <p>F:2台</p> <p>NNFS21812C LE9 (参考)</p> | <p>G LEDスライト^-スライト □504×50</p> <p>5700lm 5000K 39 VA</p>  <p>G:1台</p> <p>XL674PFVC LA9 (参考)</p> | <p>M1 LEDスライト^-スライト 87×620×110</p> <p>1350lm 5000K 12 VA</p>  <p>M1:4台</p> <p>NNI13510 LE1 (参考)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|--|--|------|----|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|-----|-----|------|------|----|-----|-----|-----|-----|---|--------|------|------|------|------|------|----|-----|-----|-----|-----|------|----|-----|------|------|------|------|----|-----|-----|-----|-----|---|--|--|--|
| <p>WBK LED^-スライト ステンレス製 ヒートON/OFF機能付 109×627×100</p> <p>公共施設型番：LBF31MP/RP-2-13 14.9 VA</p>  <p>WBK:1台</p> | <p>WD LED軒下用^+クランプ Φ150 埋込穴φ150×91</p> <p>公共施設型番：LRS1RP-08 970lm 5000K 7.4 VA</p>  <p>WD:4台</p> <p>XNW1063WN LE9 (参考)</p> | <p>WB1 LED^-スライト 逆富士型 W150 防雨防湿型 150×1250×86</p> <p>公共施設型番：LSS9MP/RP-4-30 3040lm 5000K 21.3 VA</p>  <p>WB1:1台</p> <p>XLW433AENZ LE9 (参考)</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>a09 LED非常照明 埋込穴φ100×74</p> <p>公共施設型番：K1-LRS11-1 2 VA</p>  <p>a09:1台</p> <p>保守率：0.92 K0143779</p> <table border="1"> <tr><th>器具取付高さ</th><th>2.1m</th><th>2.4m</th><th>2.6m</th><th>2.7m</th></tr> <tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>3.8</td><td>4.0</td><td>4.0</td><td>3.6</td></tr> <tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>8.5</td><td>9.4</td><td>9.9</td><td>10.1</td></tr> <tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>6.9</td><td>7.6</td><td>8.1</td><td>8.3</td></tr> </table> <p>NNFB90605K (参考)</p> | 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 2.7m | 単体配置 | A1 | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 3.6 | 直線配置 | A2 | 8.5 | 9.4 | 9.9 | 10.1 | 四角配置 | A4 | 6.9 | 7.6 | 8.1 | 8.3 | <p>a13 LED非常照明 埋込穴φ100×74</p> <p>公共施設型番：K1-LRS11-2 2 VA</p>  <p>a13:10台</p> <p>保守率：0.92 K0143780</p> <table border="1"> <tr><th>器具取付高さ</th><th>2.1m</th><th>2.4m</th><th>2.6m</th><th>2.7m</th></tr> <tr><td>単体配置</td><td>A1</td><td>4.2</td><td>4.6</td><td>4.7</td><td>4.8</td></tr> <tr><td>直線配置</td><td>A2</td><td>9.3</td><td>10.2</td><td>10.6</td><td>11.1</td></tr> <tr><td>四角配置</td><td>A4</td><td>7.4</td><td>8.2</td><td>8.4</td><td>8.9</td></tr> </table> <p>NNFB91605C (参考)</p> | 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 2.7m | 単体配置 | A1 | 4.2 | 4.6 | 4.7 | 4.8 | 直線配置 | A2 | 9.3 | 10.2 | 10.6 | 11.1 | 四角配置 | A4 | 7.4 | 8.2 | 8.4 | 8.9 | <p>XB LED避難口誘導灯 B級BL型 壁付</p> <p>公共施設型番：SH1-FBF20-BL 3.7 VA</p>  <p>XB:3台</p> <p>FA20312C LE1+FK20300 (参考)</p> | <p>XC LED避難口誘導灯 C級 壁付</p> <p>公共施設型番：SH1-FBF20-C 2.5 VA</p>  <p>XC:1台</p> <p>FA10312C LE1+FK10300 (参考)</p> | <p>YC LED避難口誘導灯 C級 天吊型 両面型</p> <p>公共施設型番：ST1-FSF23-C 3 VA</p>  <p>YC:1台</p> <p>FA10322CLE1+FK10316+FK10317+FP01525C (参考)</p> | |
| 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 2.7m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単体配置 | A1 | 3.8 | 4.0 | 4.0 | 3.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 直線配置 | A2 | 8.5 | 9.4 | 9.9 | 10.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四角配置 | A4 | 6.9 | 7.6 | 8.1 | 8.3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 器具取付高さ | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 2.7m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単体配置 | A1 | 4.2 | 4.6 | 4.7 | 4.8 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 直線配置 | A2 | 9.3 | 10.2 | 10.6 | 11.1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 四角配置 | A4 | 7.4 | 8.2 | 8.4 | 8.9 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

改修後



平面詳細図 (改修後) S=1/50

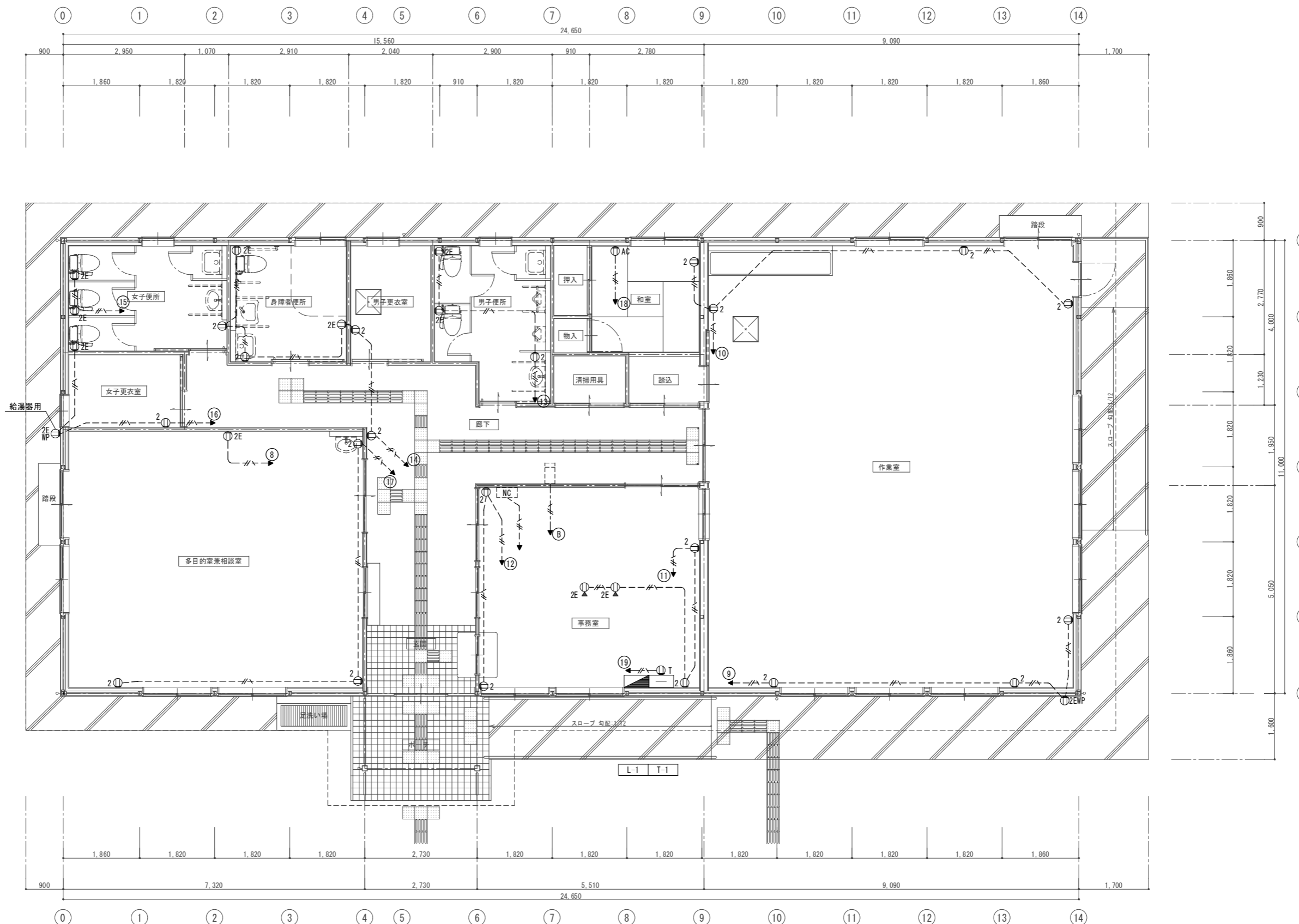


| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
|--------------------------|------------------------------|----|----|
| L-1 | 電灯分電盤 | 参照 | 新設 |
| LED照明器具 : B1, B2, B3, B6 | 照明器具 | 参照 | 新設 |
| LED照明器具 : D4 | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : F | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : G | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : M1 | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : WB1 | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : WBK | 照明器具 | | 新設 |
| LED照明器具 : WD | 照明器具 | | 新設 |
| LED非常照明器具 : a09, a13 | 照明器具 | | 新設 |
| LED避難口誘導灯 : XB, XC | 照明器具 | | 新設 |
| LED通路誘導灯 : YC | 照明器具 | | 新設 |
| 埋込スイッチ | 1P x 1 | | 新設 |
| 埋込スイッチ | 1P x 2 | | 新設 |
| 埋込スイッチ | 1P x 2 + 1P (N 10+12+13) x 1 | | 新設 |
| 埋込スイッチ | 1P x 4 + 1P (N 10+12+13) x 1 | | 新設 |
| 埋込スイッチ | 1P x 4 + 1P (N 10+12+13) x 2 | | 新設 |
| 人感センサー (天井埋込型) | 観機 | | |
| 人感センサー (天井埋込型) | 子機 ※Fは換気扇端子付 | | |
| 人感センサー用操作スイッチ | 2回路 | | |
| スイッチボックス | 700x400x75mm 大4角 深型 | | |
| 埋込コンセント (有圧用) | 2P15A x 1 接地極付 | | 新設 |
| 換気扇 | ※機械設備工事 | | 結線 |
| 有圧扇 | ※機械設備工事 | | |

| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
|-----------------------|-----------|--------|----|
| EM-EEF1.6-2C | (30#) x 2 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF1.6-3C (1CE) | (30#) x 3 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF1.6-3C | (30#) x 3 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF1.6-2C x 2 | (30#) x 4 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF1.6-2C+3C | (30#) x 5 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF1.6-2C+3C (1CE) | (30#) x 6 | (PF22) | 新設 |
| EM-EEF2.0-3C (1CE) | (30#) x 3 | (PF22) | 新設 |

注記
 1. 2重天井内はケーブルを立上下げ、貫通部のケーブルはPF管(単層)にて保護すること。
 2. 図中のZは国土交通省大臣認定工法の防火区画貫通処理を指すこと。
 3. 防火上主要な間仕切りを設置する裏付は国土交通省大臣認定工法を指すこと。

改修前



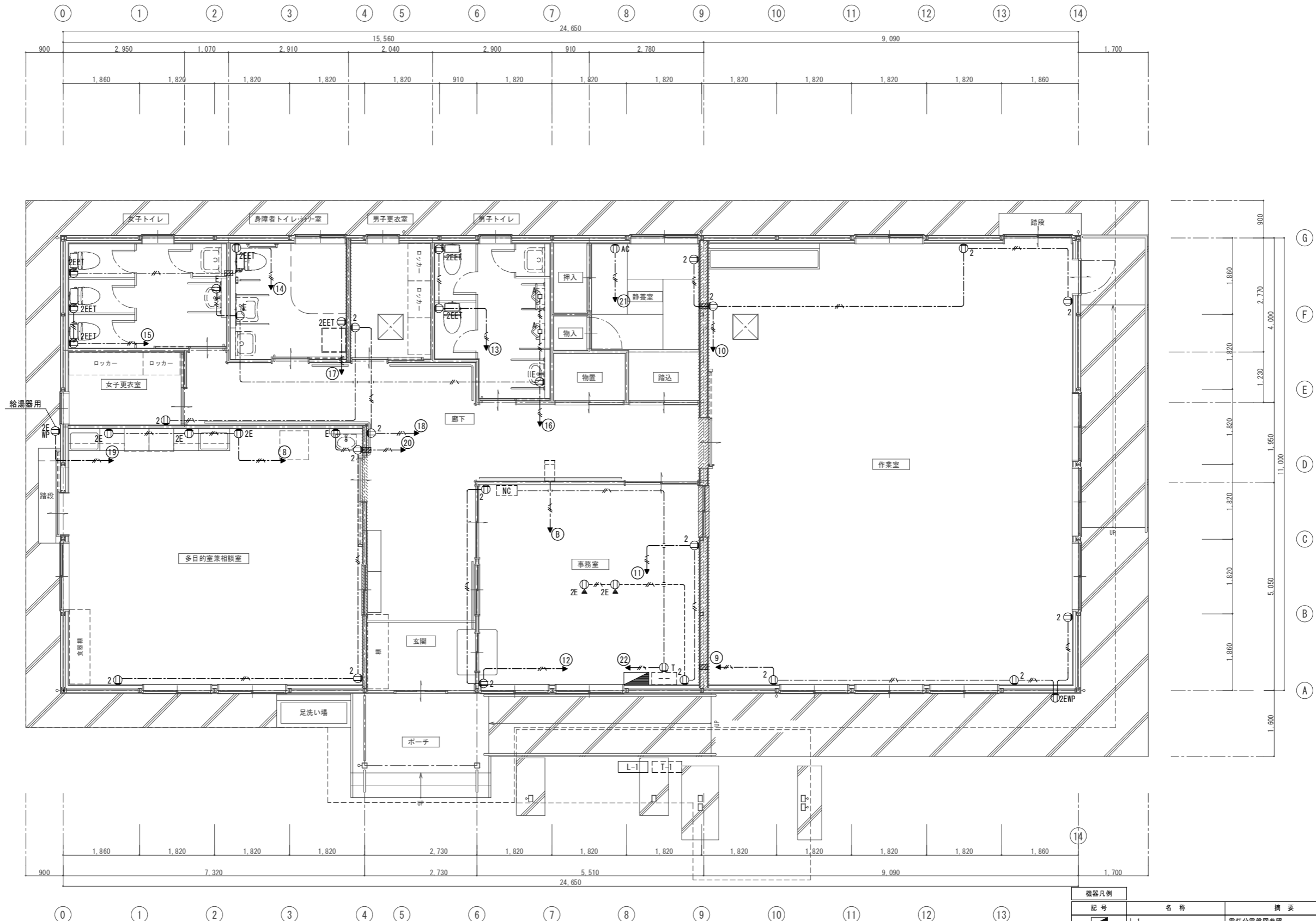
平面詳細図 (改修前) S=1/50

| 配線凡例 | | | |
|--------------------------------------|----------------|---------|---------|
| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
| —●— | VVF2.0-3C(1CE) | (ダダ) | - 撤去 |
| - - ● - - | IV2.0×3(1CE) | (隠ぺい配管) | (16) 撤去 |
| 注記 | | | |
| 1. 全て撤去とする。但しコック打込配管は残置とし配線のみを撤去とする。 | | | |

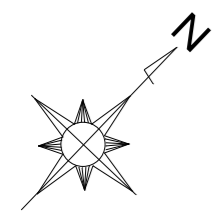
| 機器凡例 | | | |
|-----------|-----------------|----------------------|----|
| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
| □ | T-1 | 端子盤 | 撤去 |
| ⊕ 2 | 埋込コンセント | 2P15A×2 | 撤去 |
| ⊕ 2E | 埋込コンセント | 2P15A×2 接地極付 | 撤去 |
| ⊕ AC | 埋込コンセント (エアコン用) | 2P15/20A×1 接地極・接地端子付 | 撤去 |
| ⊕ 2E (WP) | 防水コンセント | 2P15A×2 接地極付 | 撤去 |
| ⊕ 2E | 707-コンセント | 2P15A×2 接地極付 | 撤去 |
| ⊕ T | 露出コンセント | 2P15A×2 接地極付 | 撤去 |

| | | | | | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|---------------------|------|------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | A1-1:50 A3-1:100 | 工事名称 | ひまわり園改修工事 | 図面名称 | コンセント設備 平面詳細図 (改修前) | 図面番号 | E-08 |
|-------|---------|---------------------|----|---------------------|------|-----------|------|---------------------|------|------|

改修後



平面詳細図 (改修後) S=1/50



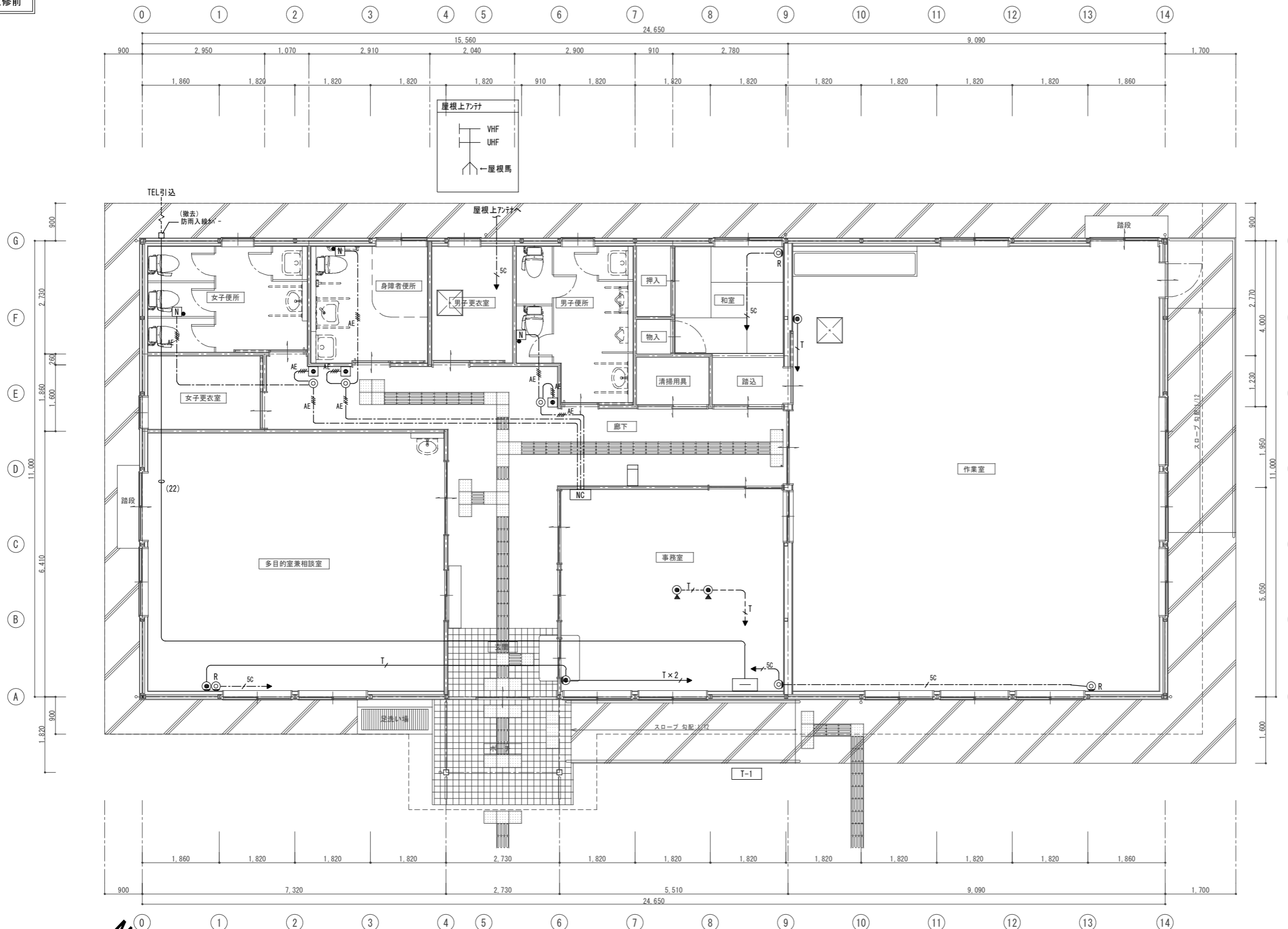
| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
|-------|------------------|------------|-----------|
| — | EM-EF2.0-30(1CE) | (φ30'φ) | (PF22) 新設 |
| - - - | EM-IE2.0×3(1CE) | (隠ぺい配管再利用) | (16) 新設 |

注記

- 壁立上下げ、貫通部のケーブルはPF管(単層)にて保護すること。
- 図中の〇は国土交通省大臣認定工法の防火区画貫通処理を施すこと。
- 防火上主要な間仕切りを設置する裏材は国土交通省大臣認定工法を施すこと。

| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
|---------|-----------------|------------|--------------|
| L-1 | L-1 | 電灯分電盤参照 | 新設 |
| Ⓜ2 | 埋込コンセント | 2P15A×2 | 新設 |
| ⓂE | 埋込コンセント | 2P15A×1 | 接地極付 新設 |
| Ⓜ2E | 埋込コンセント | 2P15A×2 | 接地極付 新設 |
| Ⓜ2EET | 埋込コンセント | 2P15A×2 | 接地極・接地端子付 新設 |
| ⓂAC | 埋込コンセント (ITコン用) | 2P15/20A×1 | 接地極・接地端子付 新設 |
| Ⓜ2E(NP) | 防水コンセント | 2P15A×2 | 接地極付 新設 |
| Ⓜ2E | 707-コンセント | 2P15A×2 | 接地極付 新設 |
| ⓂT | 露出コンセント | 2P15A×2 | 接地極付 新設 |
| ⓂT-1 | T-1 | 端子盤 | 新設 |
| ⓂNC | 呼出表示器 | | 新設 |
| Ⓜ複 | 複合装置 (非常警報設備) | | 新設 |

改修前

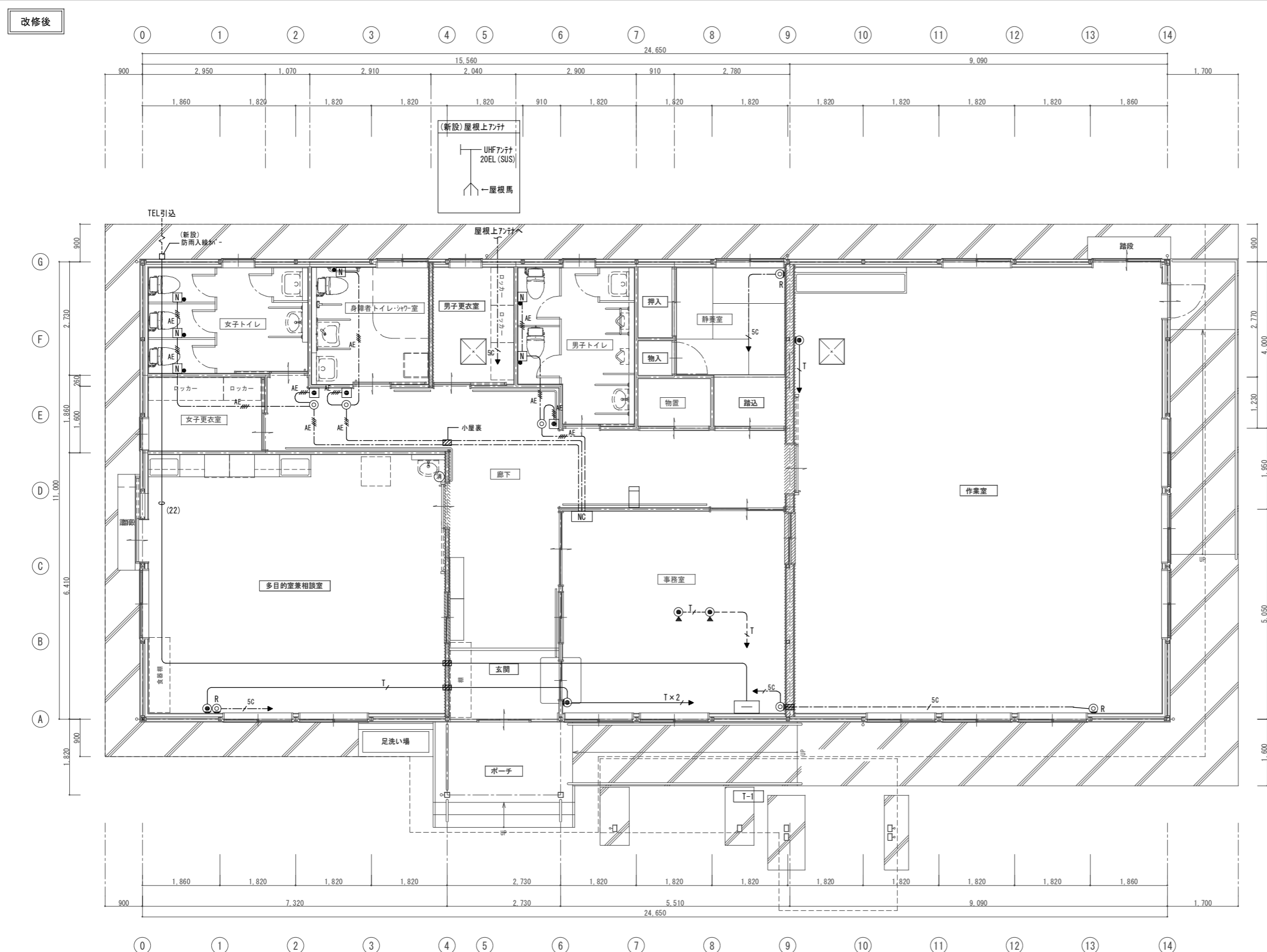


平面詳細図 (改修前) S=1/50

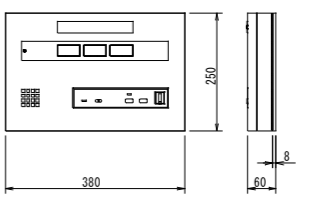
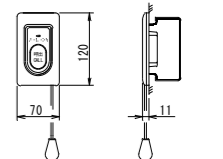
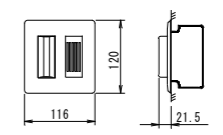
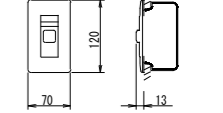
| 機器凡例 | | | |
|---------|---------------|-------------------|---------|
| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
| [TEL] | T-1 | 端子盤 (400×600×120) | 撤去 |
| ● | 電話用7ヶレット (壁付) | モジュラージャック(RJ11)×1 | 撤去 |
| ○ | 電話用7ヶレット (床付) | モジュラージャック(RJ11)×1 | 撤去 |
| [TV] | アース | | 撤去 |
| ○ | 分配器 | 4分配器 | 撤去 |
| ◎ | 直列エント | 1端子 R:終端 | 撤去 |
| [TEL呼出] | NC | 呼出表示器 | 3窓用 壁掛型 |
| [TEL呼出] | 呼出押ボタン | | 撤去 |
| ■ | 復旧ボタン | | 撤去 |
| ◎ | 廊下灯 | | 撤去 |
| [非常警報] | 複合装置 | | 撤去 |

| 配線凡例 | | | |
|---------|------|--------------------|-------------------|
| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
| [TEL] | T×n | EBT0.5-2P×n (nは本数) | (隠ぺい配管) (PF16) 撤去 |
| [TEL] | (22) | 空配管 | (隠ぺい配管) (PF22) 撤去 |
| [TV] | SC | SC-FB | (30分) - 撤去 |
| [TEL呼出] | AE | AE1.2-4C | (30分) - 撤去 |

注記
1. 全て撤去とする。但しコクリト打込配管は残置とし配線のみを撤去とする。



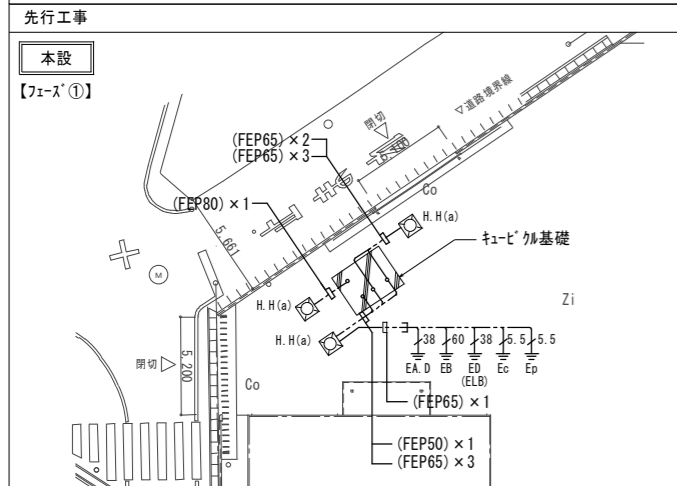
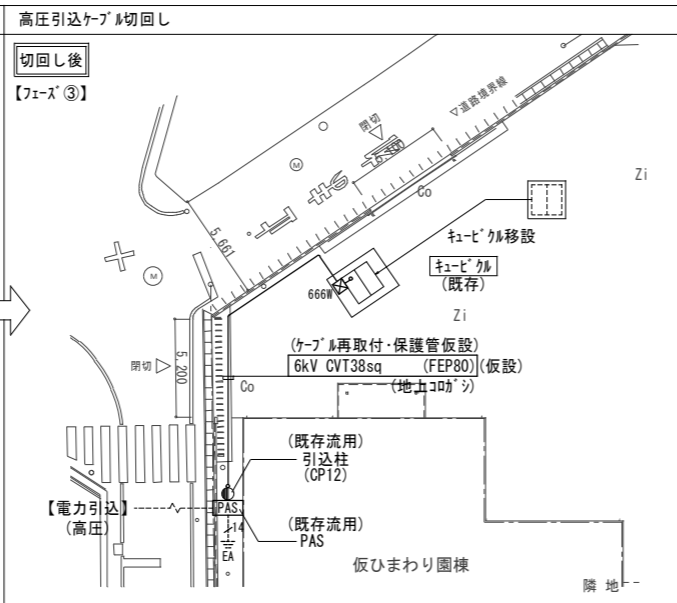
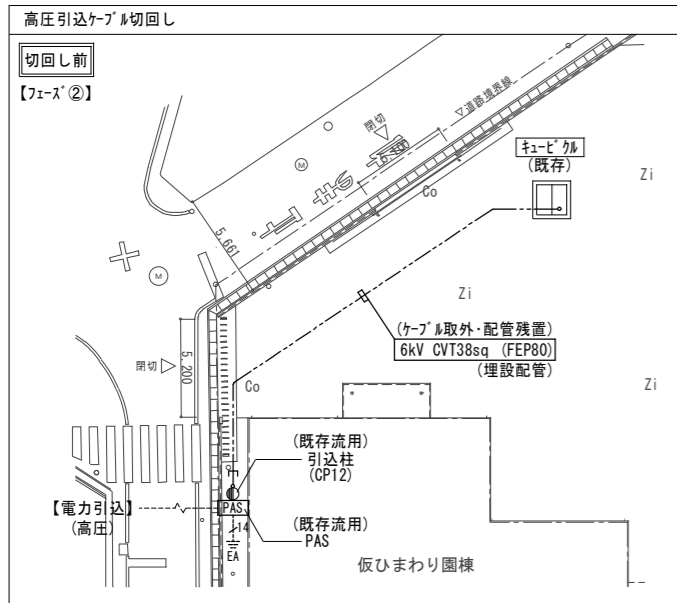
平面詳細図 (改修後) S=1/50

| | | | |
|---|---------------------------|---|-------------------------------------|
| NC | 3用呼出表示器 CBN-3C (参考) | N | 呼出ボタン(引きひも付) NBR-7HMA-TC110 (参考) |
|  | |  | |
| 電源電圧 AC100V 50/60Hz (内部電源DC12V) 形状 壁取付形 材質 SPCC T1.2 室数 3室 表示方式 呼出音と表示窓点灯 | | 形状 壁埋込型 (JIS1専用スイッチボックス) 材質 自己消火性樹脂 備考 引きひも式、押ボタン式両用 点字案内文字 | |
| ◎ | プザー付廊下灯 NR-BZLB27 (参考) | ■ | 復旧ボタン NBR-2A-C (参考) |
|  | |  | |
| 形状 壁埋込型 (JIS2専用スイッチボックス) 材質 プレート: 自己消火性樹脂 ランプカバー: ポリカーボネート 備考 プザー付 | | 形状 壁埋込型 (JIS1専用スイッチボックス) 材質 樹脂 備考 非防水形 | |

| 機器凡例 | | | |
|-----------|---------------|---------------------|----|
| 記号 | 名称 | 摘要 | 備考 |
| | T-1 | 端子盤 (400×600×125) | 新設 |
| [TEL] | | | |
| | 電話用70トクト (壁付) | モジュラータイプ (RJ11) × 1 | 新設 |
| | 電話用70トクト (床付) | モジュラータイプ (RJ11) × 1 | 新設 |
| [TV] | | | |
| | ア-ア- | | |
| | 分配器 | 4分配器 | 新設 |
| | 直列コネクタ | 1端子 R:終端 | 新設 |
| [H/H呼出] | | | |
| NC | 呼出表示器 | 機器要目参照 | 新設 |
| N | 呼出ボタン | | 新設 |
| ■ | 復旧ボタン | | 新設 |
| ◎ | 廊下灯 | | 新設 |
| [非常警報] | | | |
| | 複合装置 | 埋込型 | 新設 |

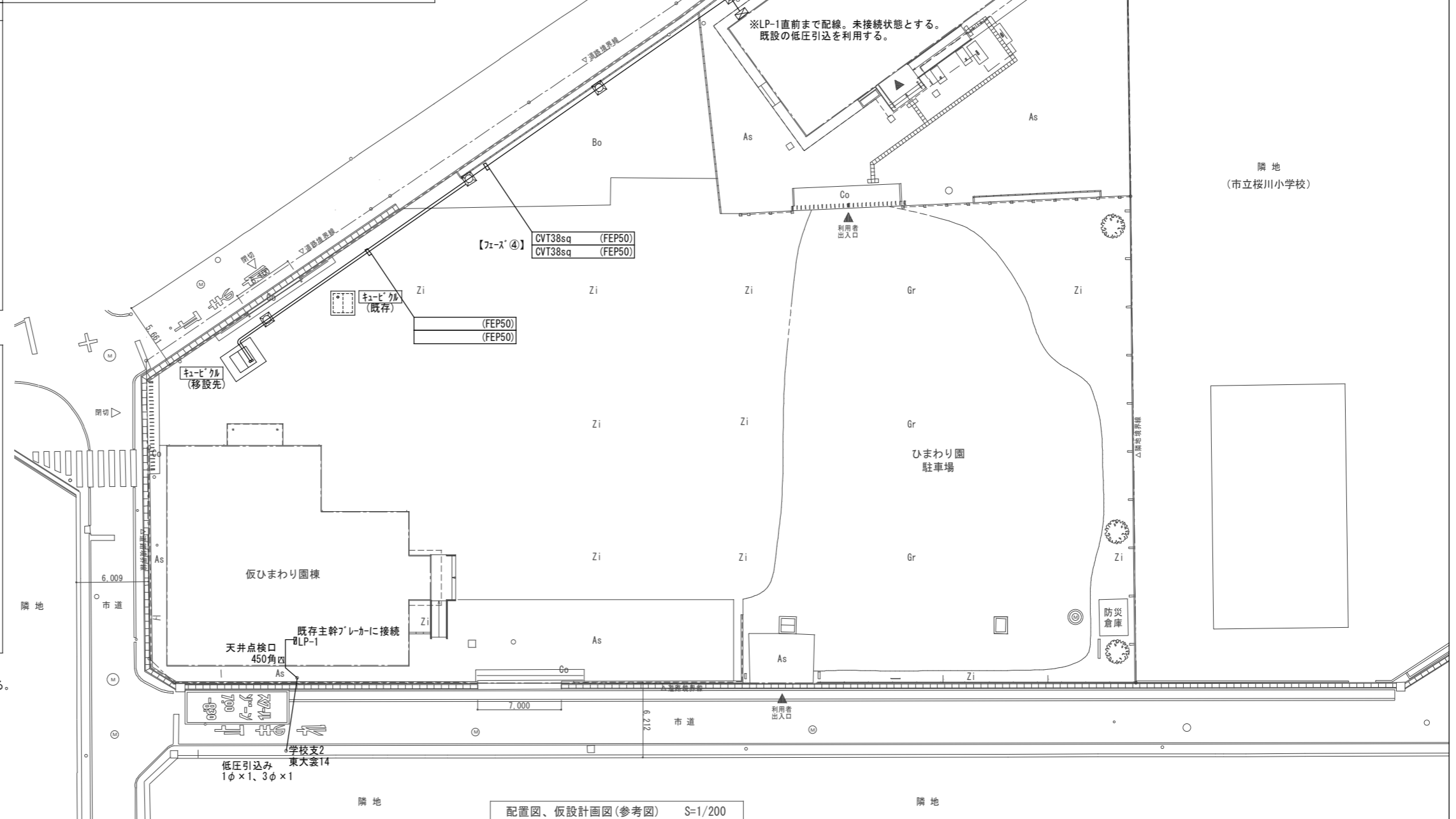
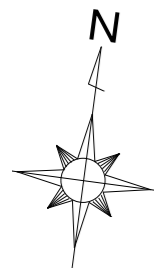
| 配線凡例 | | | |
|---------|-------------------------|------------|-----------|
| 記号 | ケーブル | 保護管 | 備考 |
| [TEL] | | | |
| | EM-EBT0.5-2P × n (nは本数) | (天井内隠ぺい配管) | (PF16) 新設 |
| | 空配管 (呼び線共) | (天井内隠ぺい配管) | (PF22) |
| [TV] | | | |
| | EM-S-50-FB | (008'φ) | (PF16) 新設 |
| [H/H呼出] | | | |
| | EM-AE1.2-4C | (008'φ) | (PF16) 新設 |

注記
 1. 壁立上下げ、貫通部のケーブルはPF管(単層)にて保護すること。
 2. 図中の [22] は国土交通省大臣認定工法の防火区画貫通処理を施すこと。
 3. 防火上主要な間仕切りに設置する裏ケーブルは国土交通省大臣認定工法を施すこと。



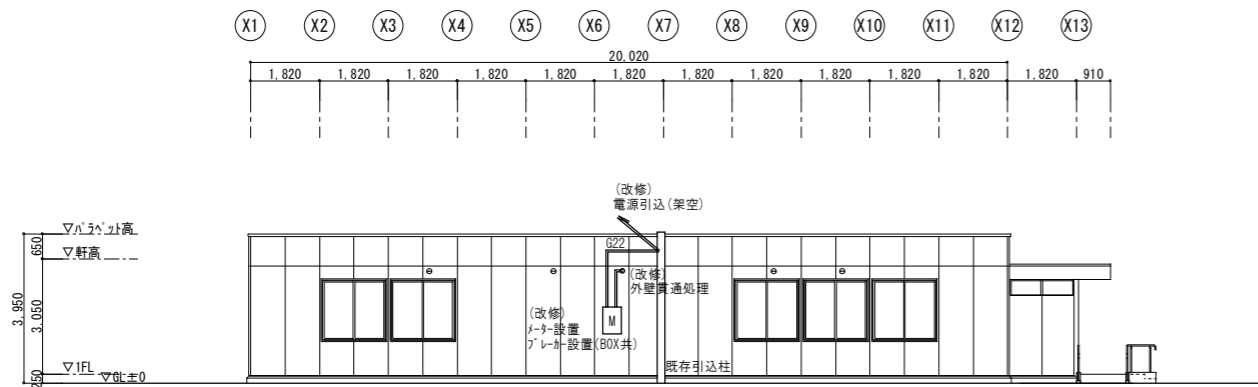
- 【71-2' ①】 先行工事
1. 本設のケーブル基礎、フェンスの工事を行う。
 2. 本設のハンドヘルムの据付、接地工事、ハンドヘルムまでの埋設配管工事を行う。
- 【71-2' ②】 高圧ケーブルの切回し
1. 既存の高圧引込ケーブルの取外しを行う。(仮設にて再利用)
- 【71-2' ③】 高圧ケーブルの切回し・ケーブル移設
1. 既存ケーブルの移設を行う。(仮設にて再利用)
 2. 取外した高圧引込ケーブルの再取付を行う。(仮設にて再利用)
 3. ケーブル、高圧ケーブルの耐圧試験を行う。
- 【71-2' ④】
1. ひまわり園棟の仮設幹線工事を行う。
- 【71-2' ⑥】
1. ケーブル、仮設幹線の撤去を行う。

・本施工に必要な申請・届出及びその費用は本工事に含まれる。
 ・電気保安技術者(電気主任技術者)の立会い費は本行為にに含まれる。

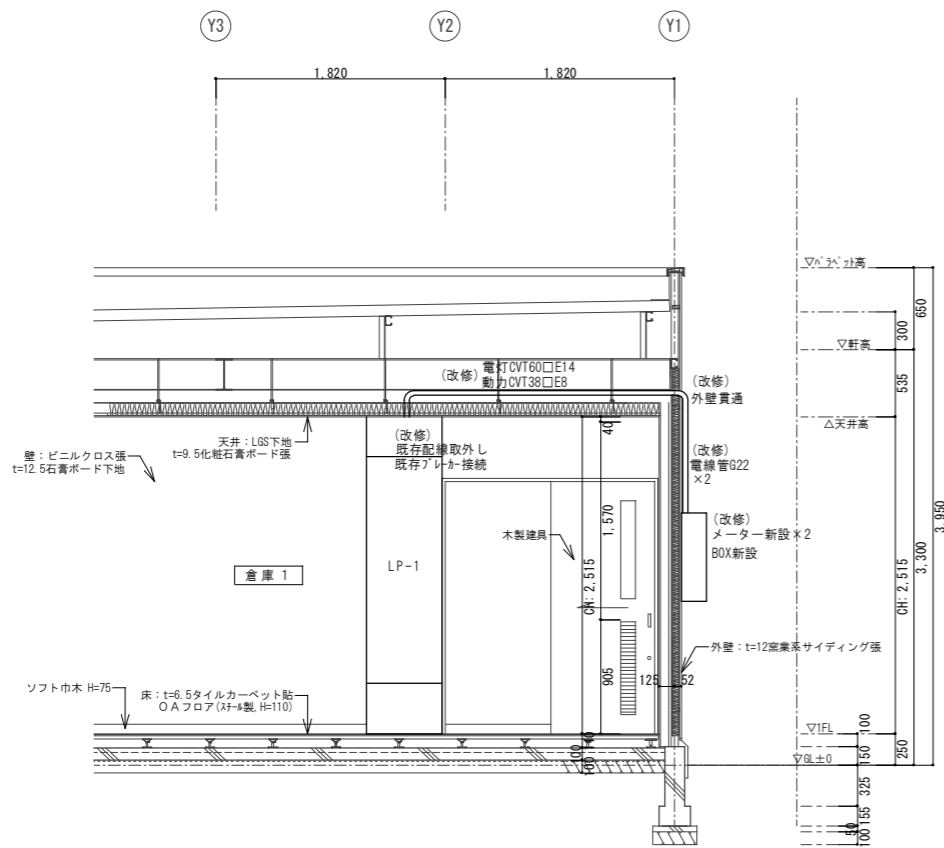


配置図、仮設計画図(参考図) S=1/200

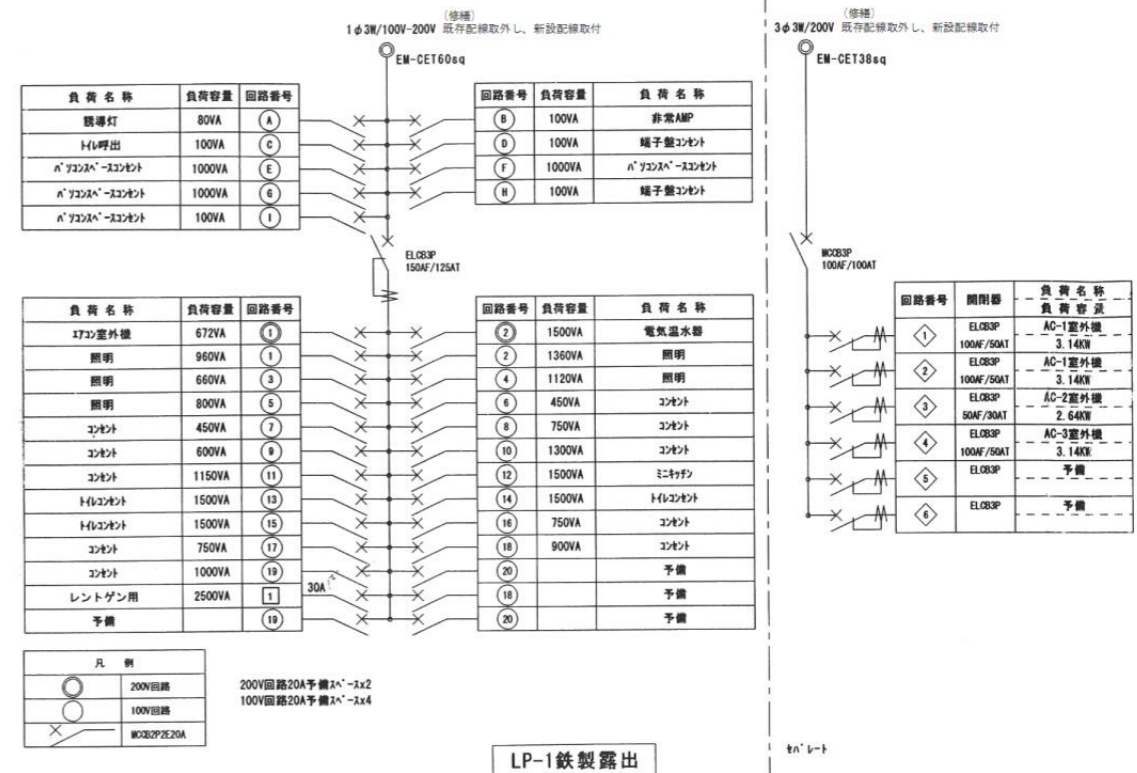
| 設計年月日 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | 工事名称 | 図面名称 | 図面番号 |
|---------|---------------------|----------------------|-----------|---------------|------|
| 2026.03 | | A1-1/200 A3-1/400 | ひまわり園改修工事 | 電気仮設計画図1(参考図) | E-12 |



南側平面図 S=1/100



矩計図 S=1/30



LP-1 鉄製露出

機械設備工事特記仕様書

I 工事概要

| | | |
|---|--------|--------------|
| 1 | 工事名称 | 建築工事特記仕様書による |
| 2 | 工事場所 | 〃 |
| 3 | 工期 | 〃 |
| | 現場施工期間 | 〃 |

| | | |
|---|-----------------------|---|
| 4 | 建物概要 | 〃 |
| 5 | 工事種目 (●印を付いたものを適用する。) | |

| 建物別及び屋外工事種目 | 工事種別 |
|-------------|------|
| ●空気調和設備 | 一式 |
| ●換気設備 | 一式 |
| ○排煙設備 | |
| ○自動制御設備 | |
| ●衛生器具設備 | 一式 |
| ●給水設備 | 一式 |
| ●排水設備 | 一式 |
| ●給湯設備 | 一式 |
| ○消火設備 | |
| ○厨房機器設備 | |
| ●ガス設備 | 一式 |

| | | |
|---|-------------------------------------|---|
| 6 | 指定部分 | 建築工事特記仕様書による |
| 7 | 主任技術者又は監理技術者の専任期間 (建設業法により必要になった場合) | 建築工事特記仕様書による |
| 8 | 工事範囲 | 図示のとおり |
| 9 | 機械設備工事概要 | <p>ひまわり園改修工事の機械設備工事</p> <ul style="list-style-type: none"> 給水設備機器の更新 給湯設備機器の更新 トイレ設備機器の更新 空調設備機器の更新 |

| | |
|----|--|
| 10 | 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は春日部市電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は春日部市建築工事特別共通仕様書による。 |
| 11 | 同時期発注の関連工事 ・建築工事 ・電気設備工事 |

II 工事仕様

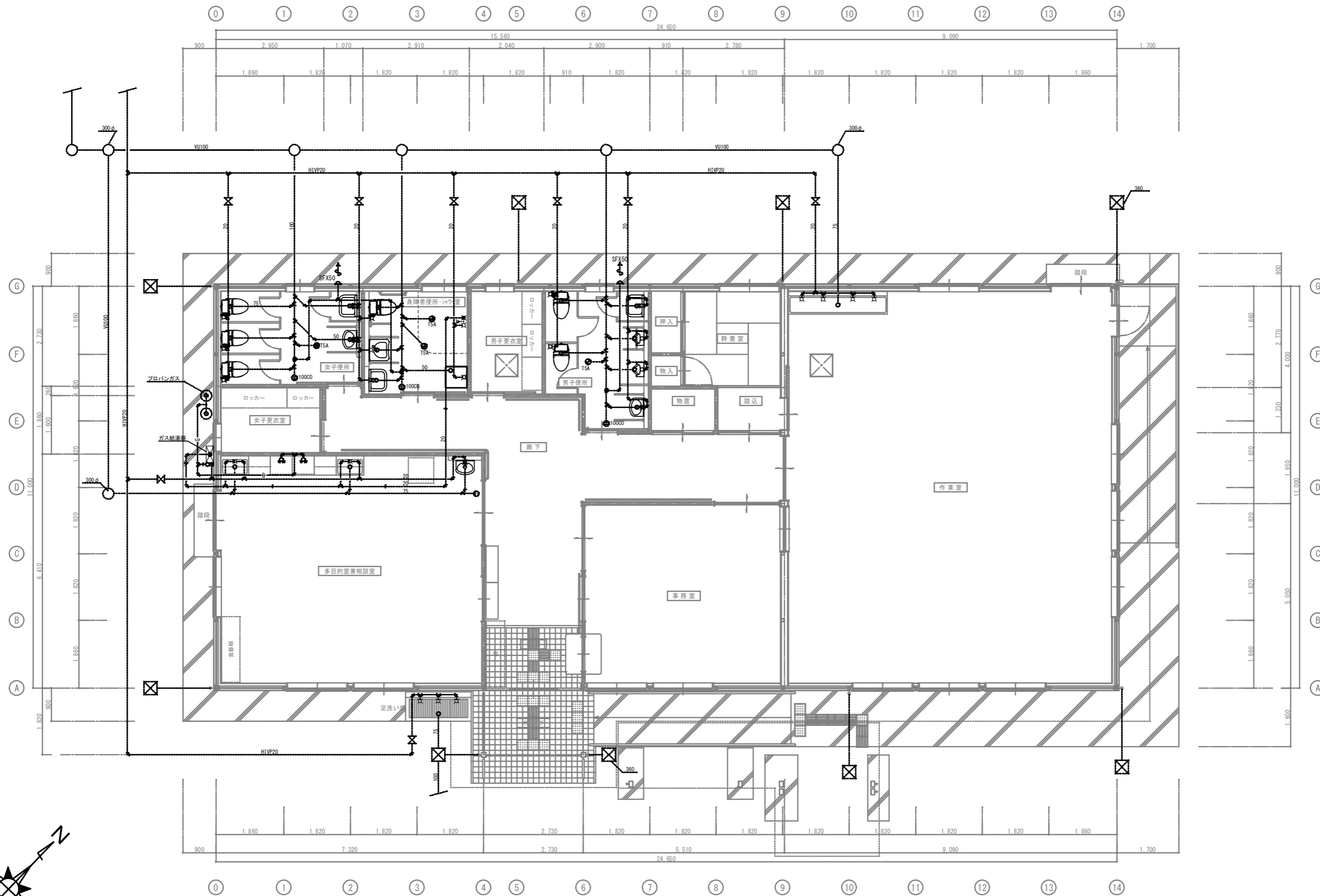
- 共通仕様
 - この工事は特記仕様書、図面によるほか、春日部市機械設備工事特別共通仕様書 (最新版) (以下「特別共通仕様書」という。)、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版)、公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版)、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) (最新版) (以下「標準仕様書等」という。)) 及び監督員の指示に従い施工する。
なお、市営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先と適用する。
 - 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
 - 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。
- 特記仕様
 - 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項のうち選択する事項は、◎印の付いたものがなければ、※印を適用し、・印のものは適用しない。○印と◎印の付いた場合は、共に適用する。

| 章 項目 | 特記事項 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|---|-------|----------|--|---------------|------|---------------|-----|-----|-------|-------|-----|-----|-----|-------|-------|---------|-----|-----|-------|-------|
| ① 機材等 | <p>本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7A'st含有の有無を確認し、7A'stを含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」(グリーン購入法)に規定される特定調達品目に該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこと。調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。</p> <p>建築工事特記仕様書による</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 電気保安技術者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 施工条件 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 技術士の適用 | ○配管施工 (配管工事) ・建築板金施工 (風道制作及び取付け) ・熱絶縁施工 (保温工事) ・冷凍空調調和機器施工 (冷凍空調機器の据付) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 機材の検査及び試験、施工の検査及び試験 | 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6 監督員事務所 | 建築工事特記仕様書による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑦ 官公署その他への届出手続等 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑧ 工用電力・水等 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑨ 工用仮設物 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑩ 足場・さんばし類 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑪ 建設発生土の処理 | 〃 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑫ 埋め戻し土・盛土 | ◎根切土の中の良質土 (但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類) ○山砂の類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 13 再生砂、再生砕石、再生アスコン使用 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑬ 発生材の処理等 | <p>※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 (構外搬出処理費は ※本工事 ・別途)</p> <p>(1) 引渡しを要するもの (なし)) (2) 買取処分をするもの (なし)) (3) 再生資源化を図るもの (なし)) (4) 特別管理産業廃棄物 (なし))</p> <p>※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑮ 容量等の表示 | <p>(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 配管 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑰ 耐震施工 | <p>設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針」(独立行政法人建築研究所監修)を参考とする。 ただし、設計用地震力 (水平及び鉛直) は次の設計用水平震度K_H及び設計用鉛直震度K_V ($K_H \times 2$) を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。</p> <table border="1"> <caption>設計用水平震度</caption> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th colspan="2">耐震安全性の分類</th> </tr> <tr> <th>特定の施設 重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上階層 屋上及び塔屋</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td><2.0></td> <td><1.5></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td><1.5></td> <td><1.0></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">1階及び地下階</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td><1.0></td> <td><1.0></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 < > 内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2~6階建の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、10~12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの (平屋建の場合は無し) 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器</p> | 設置場所 | 耐震安全性の分類 | | 特定の施設 重要機器 | 一般機器 | 上階層 屋上及び塔屋 | 2.0 | 1.5 | <2.0> | <1.5> | 中間階 | 1.5 | 1.0 | <1.5> | <1.0> | 1階及び地下階 | 1.0 | 0.6 | <1.0> | <1.0> |
| 設置場所 | 耐震安全性の分類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 特定の施設 重要機器 | 一般機器 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 上階層 屋上及び塔屋 | 2.0 | 1.5 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <2.0> | <1.5> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中間階 | 1.5 | 1.0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <1.5> | <1.0> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1階及び地下階 | 1.0 | 0.6 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <1.0> | <1.0> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑰-1 あと施工アンカー | 電気設備工事特記仕様書による | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| ⑱ 防露保温工事 | <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <table border="1"> <caption>空気調和設備工事の保温の種別</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>保温種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">ドレン管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中</td> <td>c2・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>e3・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">温水管 (膨張管を含む。)</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>A1・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>B・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>天井内、PS内及び空隙壁中</td> <td>C2・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>D・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>E3・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td></td> <td>及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛鉄板ラッキング ・SUSラッキング ・保温化粧カバー (※樹脂製 ・亜鉛メッキ鋼板製 ・SUS製) 2. 施工種別Bの材料及び施工順序4、5に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材)とする。</p> <table border="1"> <caption>ダクトの保温の種別</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>保温種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">円形ダクト</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>O1・(ロ)・XI</td> </tr> <tr> <td>屋内露出 (機械室、書庫、倉庫)</td> <td>N・(ロ)・XI</td> </tr> <tr> <td>屋内隠ぺい、DS内</td> <td>N・(ロ)・XI</td> </tr> <tr> <td>屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。)</td> <td>P3・(ロ)・XI</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">消音内貼り</td> <td>サブライチャンバー</td> <td>M・(ロ)・IX</td> </tr> <tr> <td>消音チャンバー・消音エルボ</td> <td>L・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 厨房ダクトの保温材は、管轄消防の規則を確認の上、選定すること。</p> <table border="1"> <caption>給排水衛生設備工事の保温の種別</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>施工箇所</th> <th>保温種別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">給水管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(ハ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>天井内</td> <td>c2・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>PS内及び空隙壁中</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">排水及び通気管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>天井内</td> <td>c2・(ロ)・Ⅶ</td> </tr> <tr> <td>PS内及び空隙壁中</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">給湯管</td> <td>屋内露出 (一般居室、廊下)</td> <td>a1・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>b・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>天井内</td> <td>c2・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td>PS内及び空隙壁中</td> <td>d・(ロ)・I</td> </tr> <tr> <td></td> <td>屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。)</td> <td>e3・(ロ)・I</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 消火、排水及び通気管のうち見えかきり部は塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火二層管、耐火VPの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化粧原紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種別は、(※グラスウール ・ロックウール)とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・Ⅶとする。 6. 便所内露出SUS管及び流し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所 (特別支援学校等) 以外の便所で高密度ポリエチレン管を採用する場合は、施工箇所によらず保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。</p> | 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | ドレン管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ハ)・Ⅶ | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ハ)・Ⅶ | 天井内、PS内及び空隙壁中 | c2・(ロ)・Ⅶ | 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | e3・(ハ)・Ⅶ | 温水管 (膨張管を含む。) | 屋内露出 (一般居室、廊下) | A1・(ロ)・I | 機械室、書庫、倉庫 | B・(ロ)・I | 天井内、PS内及び空隙壁中 | C2・(ロ)・I | 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。) | D・(ロ)・I | 屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) | E3・(ロ)・I | | 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | | 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | 円形ダクト | 屋内露出 (一般居室、廊下) | O1・(ロ)・XI | 屋内露出 (機械室、書庫、倉庫) | N・(ロ)・XI | 屋内隠ぺい、DS内 | N・(ロ)・XI | 屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) | P3・(ロ)・XI | 消音内貼り | サブライチャンバー | M・(ロ)・IX | 消音チャンバー・消音エルボ | L・(ロ)・Ⅶ | 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | 給水管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ハ)・Ⅶ | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ハ)・Ⅶ | 天井内 | c2・(ロ)・Ⅶ | PS内及び空隙壁中 | — | 排水及び通気管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | — | 機械室、書庫、倉庫 | — | 天井内 | c2・(ロ)・Ⅶ | PS内及び空隙壁中 | — | 給湯管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ロ)・I | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ロ)・I | 天井内 | c2・(ロ)・I | PS内及び空隙壁中 | d・(ロ)・I | | 屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | e3・(ロ)・I |
|---------------|--|-----------|------|------|------|----------------|----------|-----------|---------|---------------|----------|----------------------------|----------|---------------|----------------|----------|-----------|---------|---------------|----------|-----------------------|---------|-----------------------|----------|--|------------------------------|--|----|------|------|-------|----------------|-----------|------------------|----------|-----------|----------|-----------------------|-----------|-------|-----------|----------|---------------|---------|----|------|------|-----|----------------|----------|-----------|---------|-----|----------|-----------|---|---------|----------------|---|-----------|---|-----|----------|-----------|---|-----|----------------|----------|-----------|---------|-----|----------|-----------|---------|--|----------------------------------|----------|
| 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドレン管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ハ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ハ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井内、PS内及び空隙壁中 | c2・(ロ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | e3・(ハ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温水管 (膨張管を含む。) | 屋内露出 (一般居室、廊下) | A1・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械室、書庫、倉庫 | B・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井内、PS内及び空隙壁中 | C2・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 床下、暗渠内 (ピット内、共同溝を含む。) | D・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) | E3・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 及び浴室、厨房等の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 円形ダクト | 屋内露出 (一般居室、廊下) | O1・(ロ)・XI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋内露出 (機械室、書庫、倉庫) | N・(ロ)・XI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋内隠ぺい、DS内 | N・(ロ)・XI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋外露出 (バルコニー、開放廊下を含む。) | P3・(ロ)・XI | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 消音内貼り | サブライチャンバー | M・(ロ)・IX | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 消音チャンバー・消音エルボ | L・(ロ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 区分 | 施工箇所 | 保温種別 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給水管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ハ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ハ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井内 | c2・(ロ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | PS内及び空隙壁中 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 排水及び通気管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械室、書庫、倉庫 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井内 | c2・(ロ)・Ⅶ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | PS内及び空隙壁中 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給湯管 | 屋内露出 (一般居室、廊下) | a1・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機械室、書庫、倉庫 | b・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 天井内 | c2・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | PS内及び空隙壁中 | d・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 屋外露出及び浴室、厨房内の多湿箇所 (厨房の天井内は含まない。) | e3・(ロ)・I | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑲ 防凍保温 | <p>※屋外露出給水管 (呼び径20以下のみ) は、保温厚40mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部 (給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。) は下記仕様により防凍保温を行う。 ※保温仕様は保温厚さを40mmとする。 ・保温材をグラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑳ 塗装 | 露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ㉑ 電線 | 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|---------------------|---|
| ㉒ はつり及びあと | <p>既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。 電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。</p> |
| 23 管の埋設深さ | <p>(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。 (2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。 (3) その他の場所では、地表面 (舗装する部分では路盤材下面) から管の上端まで300mmとする。</p> |
| ⑳ 既設管分岐・接続 | <p>既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。</p> |
| 25 絶縁継手の設置・種別 | <p>※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ</p> |
| 26 他工事との取合区分 | <p>スリープ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさなどを明示し、監督員と打合わせる。</p> |
| ㉑ 施工図等の取扱い | 施工図等の著作権に係る当該建物に限る使用権は、発注者に帰属するものとする。 |
| ㉒ 保険 | <p>受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている相立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写しを監督員に提出する。</p> |
| ㉓ 配管識別 | <p>配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。</p> |
| ㉔ 壁落制止用器具 (フルハーネス型) | <p>※使用を要する 壁落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン (平成30年6月22日付け基発0622第2号) による ・使用を要しない</p> |
| ㉕ 誘導電動機 | 三相誘導電動機はJIS C 4213 (IE3) トップランナーモーターとする。 |
| ㉖ 完成図書 | 電子納品 |
| ㉗ その他 | 建築工事特記仕様書による |
| ① 共通事項 | 改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。 |
| ② 改修部分の足場 | 建築工事特記仕様書による |
| ③ 既存部分養生・既存家具等養生 | 建築工事特記仕様書による |
| ④ 備品等の移動 | 施設関係者と協議による |
| ⑤ 仮設間仕切り | 建築工事特記仕様書による |
| ⑥ 撤去後機材の扱い | <p>(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発生品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処分し、マニフェストを監督員に提出する。</p> |
| ⑦ 支持金物の再使用 | <p>(1) インサート金物 ◎インサートの径毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ◎新品 (2) 形鋼支持金物等 ◎再使用できる ◎新品</p> |
| ⑧ あと施工アンカーの種別 | <p>金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。</p> |
| ⑨ フロン回収 | <p>冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロンガスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律」に基づき処理すること。</p> |
| ⑩ 総合調整 | ・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整 |
| 11 既設基礎類の解体はつり | |
| ⑫ アスベスト事前調査結果の報告 | <p>全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を建築物石綿含有建材調査者により実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告すること。</p> |
| ⑬ その他 | 建築工事特記仕様書による |

| | | | | | | |
|--|---------|---------|----|-----------|-----------------|------|
| | 設計年月日 | 春日部市 | 縮尺 | 工事名称 | 図面名称 | 図面番号 |
| | 2026.03 | 福祉部 | | ひまわり園改修工事 | 機械設備工事特記仕様書 (1) | M-01 |
| | | 障がい者支援課 | | | | |

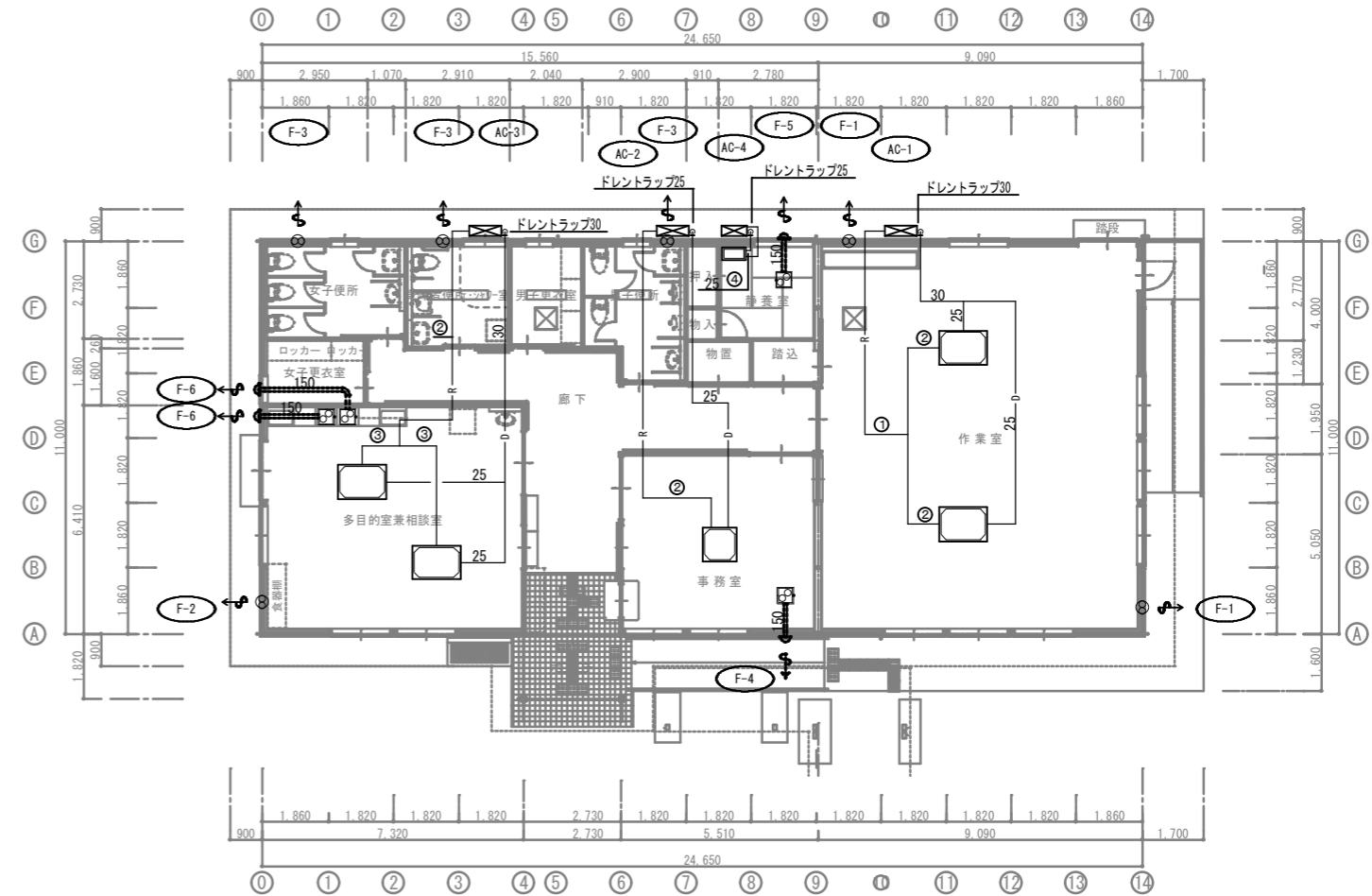


平面詳細図 (改修前) S=1/50

| | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|-----------------------------|-------------------|---------------------------|--------------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 A1-1: 50 A3-1: 100 | 工事名称 ひまわり園改修工事 | 図面名称 給排水衛生設備 (改修後) 平面図 | 図面番号 M-05 |
|-------|---------|---------------------|-----------------------------|-------------------|---------------------------|--------------|

改修後 機器表

| 記号 | 機器名称 | 仕様 | 台数 | 備考 |
|------|------------|---------------------------------------|----|---------------------|
| AC-1 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：25KW 暖房能力：28KW 天カセ2方向 | 1 | 化粧パネル SSRG280C(N)D |
| | ツイン同時運転 | 3φ200V 消費電力10.1KW | | リモコン 冷媒分岐管 |
| AC-2 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW 天カセ4方向 | 1 | 化粧パネル SSRC80C(N)T |
| | ツイン同時運転 | 3φ200V 消費電力1.59KW | | リモコン |
| AC-3 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：12.5KW 暖房能力：14KW 天カセ2方向 | 1 | 化粧パネル SSRG140C(N)D |
| | ツイン同時運転 | 3φ200V 消費電力3.88KW | | リモコン 冷媒分岐管 |
| AC-4 | 壁掛エアコン | 冷房能力：2.2KW 暖房能力：3.2KW | 1 | リモコン S225STAS-W(-C) |
| | | 消費電力0.44KW | | |
| F-1 | 換気扇 | 300φ 1100m3/H 10.0Pa 40W ウェザーカバー SUS | 2 | EX-30SC4-C |
| F-2 | 換気扇 | 250φ 700m3/H 13.0Pa 31.5W ウェザーカバー SUS | 1 | EX-25SC4-C |
| F-3 | 換気扇 | 200φ 410m3/H 13.0Pa 15.5W ウェザーカバー SUS | 3 | EX-20SC4-C |
| F-4 | 天井換気扇 | 150φ 450m3/H 120Pa 74W ベンドキャップ SUS | 1 | VD-23ZB13 |
| F-5 | 天井換気扇 | 150φ 300m3/H 80Pa 44W ベンドキャップ SUS | 1 | VD-20ZC14 |
| F-6 | レンジフード | 150φ 450m3/H 120Pa 77W ベンドキャップ SUS | 2 | V-604K9 |

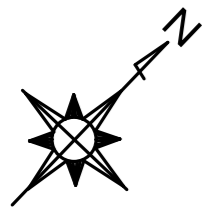


平面詳細図 (改修後) S=1/50

配管配線仕様表

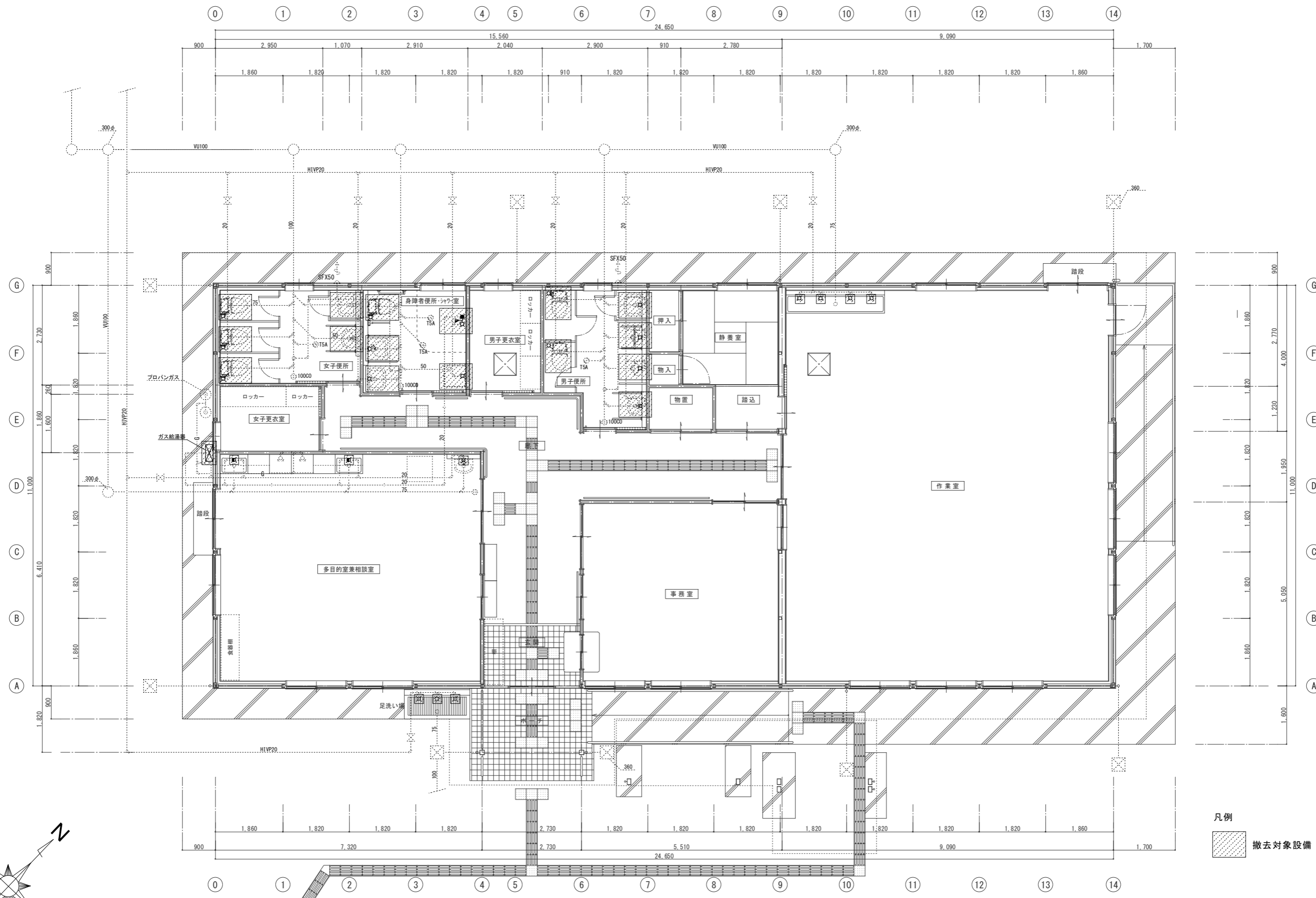
| 記号 | 名称 | 備考 |
|-------|----------|-------------------------------|
| —R— | 冷媒管 | 冷媒用断熱材付镀锌钢管 (保温厚10mm ガス管20mm) |
| —D— | ドレン管 | 保温機能付きドレン管 (屋内)・カラーVP (屋外) |
| ===== | スパイラルダクト | 鋼製 |
| ■ | 区画貫通処理 | |

| | | |
|---|-------------|----------------------|
| ① | 12.7φ×28.6φ | EM-CE2.0-4C (冷媒管共巻き) |
| ② | 9.5φ×15.9φ | EM-CE2.0-4C (冷媒管共巻き) |
| ③ | 6.4φ×12.7φ | EM-CE2.0-4C (冷媒管共巻き) |
| ④ | 6.4φ×9.5φ | EM-CE2.0-4C (冷媒管共巻き) |



器具表

| 名称 | 参考品番 備考 | 室名 | | | | | | | 合計 |
|-----------|-------------------------|-----|----|--------|------|------|----|---|----|
| | | 作業室 | 食堂 | 身障者用便所 | 男子便所 | 女子便所 | 外構 | — | |
| 洋風大便器 | C420、S516B、TCF102 | | | 1 | 2 | 3 | | | 6 |
| 身障者用同上手すり | T112CH1 | | | 1 | | | | | 1 |
| 身障者用同上手すり | T112CL | | | 1 | | | | | 1 |
| 小便器 | U-307C、TG60PNX | | | | 2 | | | | 2 |
| 同上手すり | T112CU1 | | | | 1 | | | | 1 |
| 紙巻器 | YH50 | | | 1 | 2 | 3 | | | 6 |
| 身障者用手洗器 | L-103CFG、Pトラップ、TS126AR | | | 1 | | | | | 1 |
| 手洗器 | L-230S、Sトラップ、TS126AR | | 1 | | 1 | 1 | | | 3 |
| 傾斜鏡 | LM531 | 2 | | 1 | | | | | 3 |
| 鏡 | TS115S | 2 | 1 | | 1 | 1 | | | 5 |
| 掃除流し | SK22A | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| タオル掛け | TS115S | | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 4 |
| 洗濯パン | PWP800S | | | 1 | | | | | 1 |
| 同上手水栓 | T28A13 | | | 1 | | | | | 1 |
| 流し台 | SUS全槽 2700×600×750 | 1 | | | | | | | 1 |
| 流し台 | NC-S-75 | | 2 | | | | | | 2 |
| 調理台 | NC-T-60 | | 2 | | | | | | 2 |
| ガス台 | NC-K-60BG | | 2 | | | | | | 2 |
| 吊戸棚 | NC-A-75 | | 2 | | | | | | 2 |
| 吊戸棚 | NC-A-60 | | 2 | | | | | | 2 |
| ガスコンロ | PA-300SH | | 2 | | | | | | 2 |
| 自在水栓 | T30ARQ13 | 4 | | | | | | | 4 |
| 混合水栓 | TKJ30X | | 2 | | | | | | 2 |
| シャワー水栓 | TMJ40CX サーモ式 | | | 1 | | | | | 1 |
| 手洗い器用手摺 | T112CP3 | | | 1 | 1 | 1 | | | 3 |
| 水栓(足洗い場) | T200S13 | | | | | | 3 | | 3 |
| ガス給湯器 | 屋外壁掛け RGH16CF5S 16号 LPG | | | | | | 1 | | 1 |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |

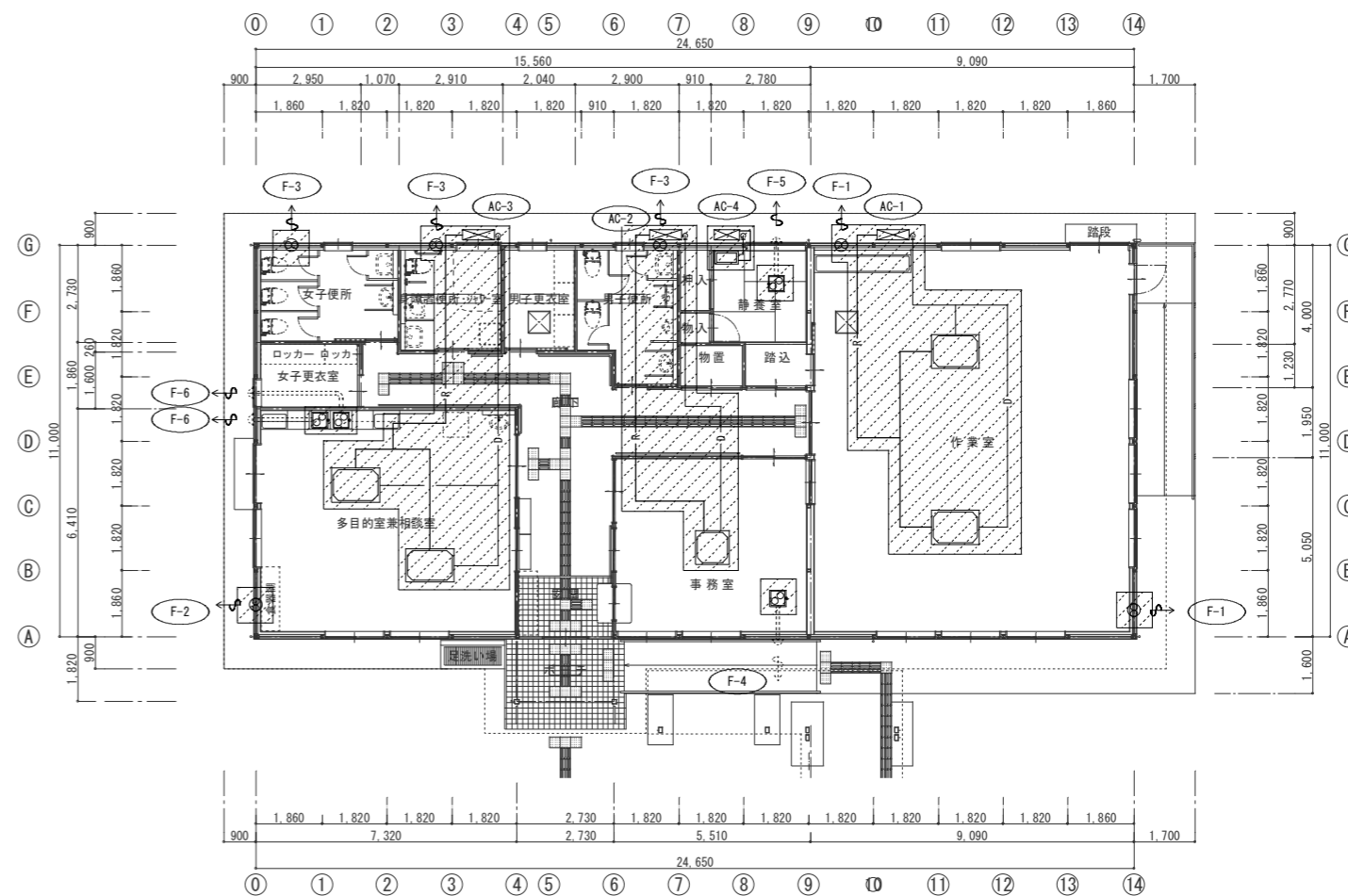


平面詳細図 (改修前) S=1/50

| 設計年月日 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 | 工事名称 | 図面名称 | 図面番号 |
|---------|---------------------|-----------------------|-----------|-------------------|------|
| 2026.03 | | A1-1: 50 A3-1: 100 | ひまわり園改修工事 | 給排水衛生設備 (改修前) 平面図 | M-08 |

改修前 機器表

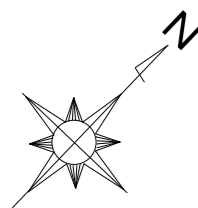
| 記号 | 機器名称 | 仕様 | 台数 | 備考 |
|------|------------|---------------------------------|----|-------------|
| AC-1 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：25KW 暖房能力：28KW | 1 | 化粧パネル |
| | | 圧縮機：7.5KW | | リモコン |
| | | 送風機(内)：90KW×2 (外)200W+140W | | 冷媒分岐管 |
| AC-2 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：7.1KW 暖房能力：8.0KW | 1 | 化粧パネル |
| | | 圧縮機：2.2KW | | リモコン |
| | | 送風機(内)：45KW (外)70W | | |
| AC-3 | 天井カセットエアコン | 冷房能力：12.5KW 暖房能力：14KW | 1 | 化粧パネル |
| | | 圧縮機：3.75KW | | リモコン |
| | | 送風機(内)：45KW×2 (外)90W+65W | | 冷媒分岐管 |
| AC-4 | 壁掛エアコン | 冷房能力：2.2KW 暖房能力：3.2KW | 1 | リモコン |
| | | 圧縮機：0.6KW | | |
| | | 送風機(内)：14KW (外)19W | | |
| F-1 | 換気扇 | 300φ 1050m ³ /H 27W | 2 | ウェザーカバー SUS |
| F-2 | 換気扇 | 250φ 600m ³ /H 19W | 1 | ウェザーカバー SUS |
| F-3 | 換気扇 | 200φ 546m ³ /H 16.5W | 3 | ウェザーカバー SUS |
| F-4 | 天井換気扇 | 580m ³ /H 42W | 1 | ベンドキャップ SUS |
| F-5 | 天井換気扇 | 280m ³ /H 25W | 1 | ベンドキャップ SUS |
| F-6 | レンジフード | 546m ³ /H 75W | 2 | ベンドキャップ SUS |



平面詳細図 (改修前) S=1/50

凡例

撤去対象設備



| | | | | | | |
|-------|---------|---------------------|----------------------------|-------------------|-------------------------|--------------|
| 設計年月日 | 2026.03 | 春日部市 福祉部 障がい者支援課 | 縮尺 A1-1:100 A3-1:200 | 工事名称 ひまわり園改修工事 | 図面名称 空調・換気設備(改修前)平面図 | 図面番号 M-09 |
|-------|---------|---------------------|----------------------------|-------------------|-------------------------|--------------|